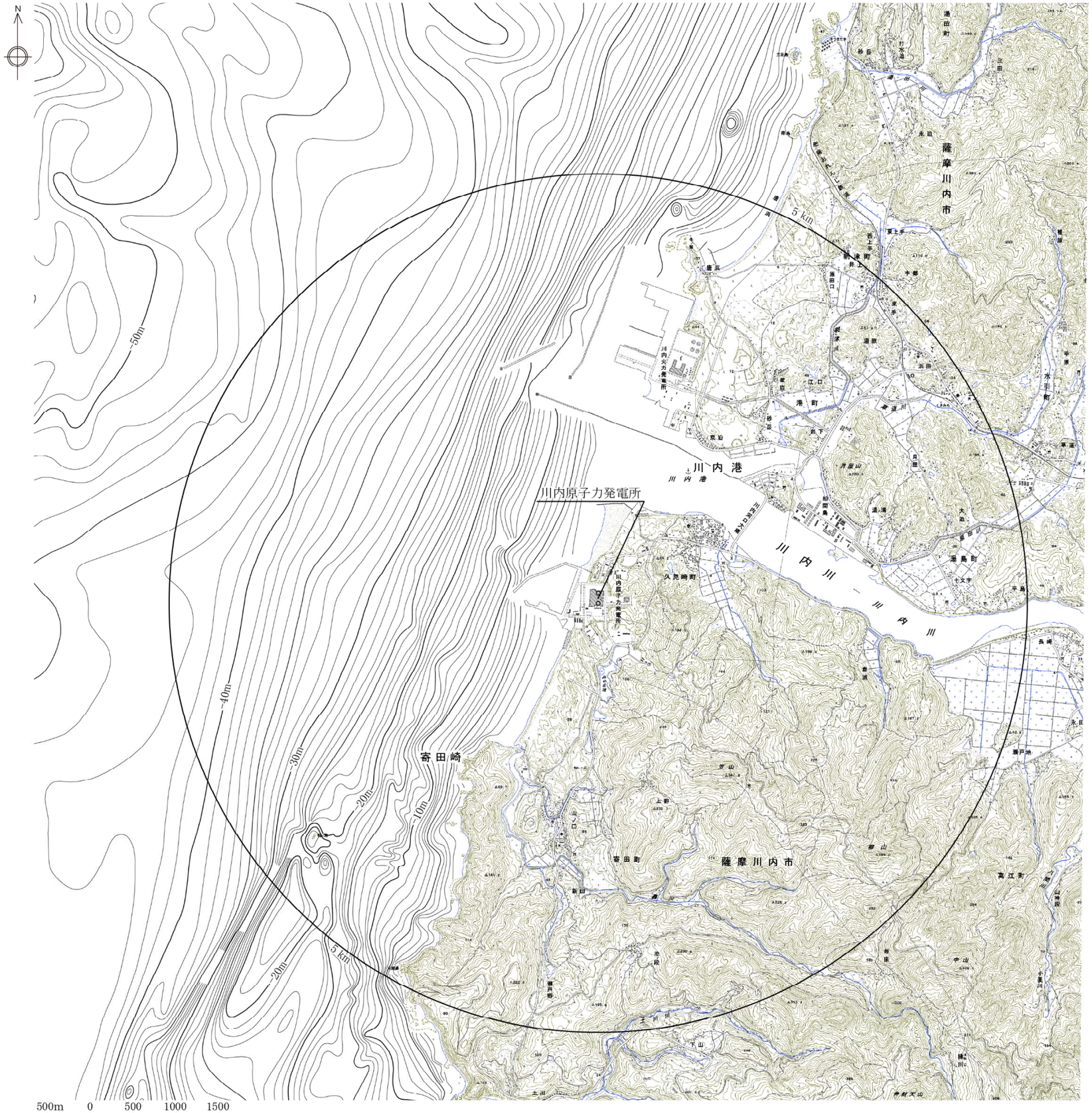
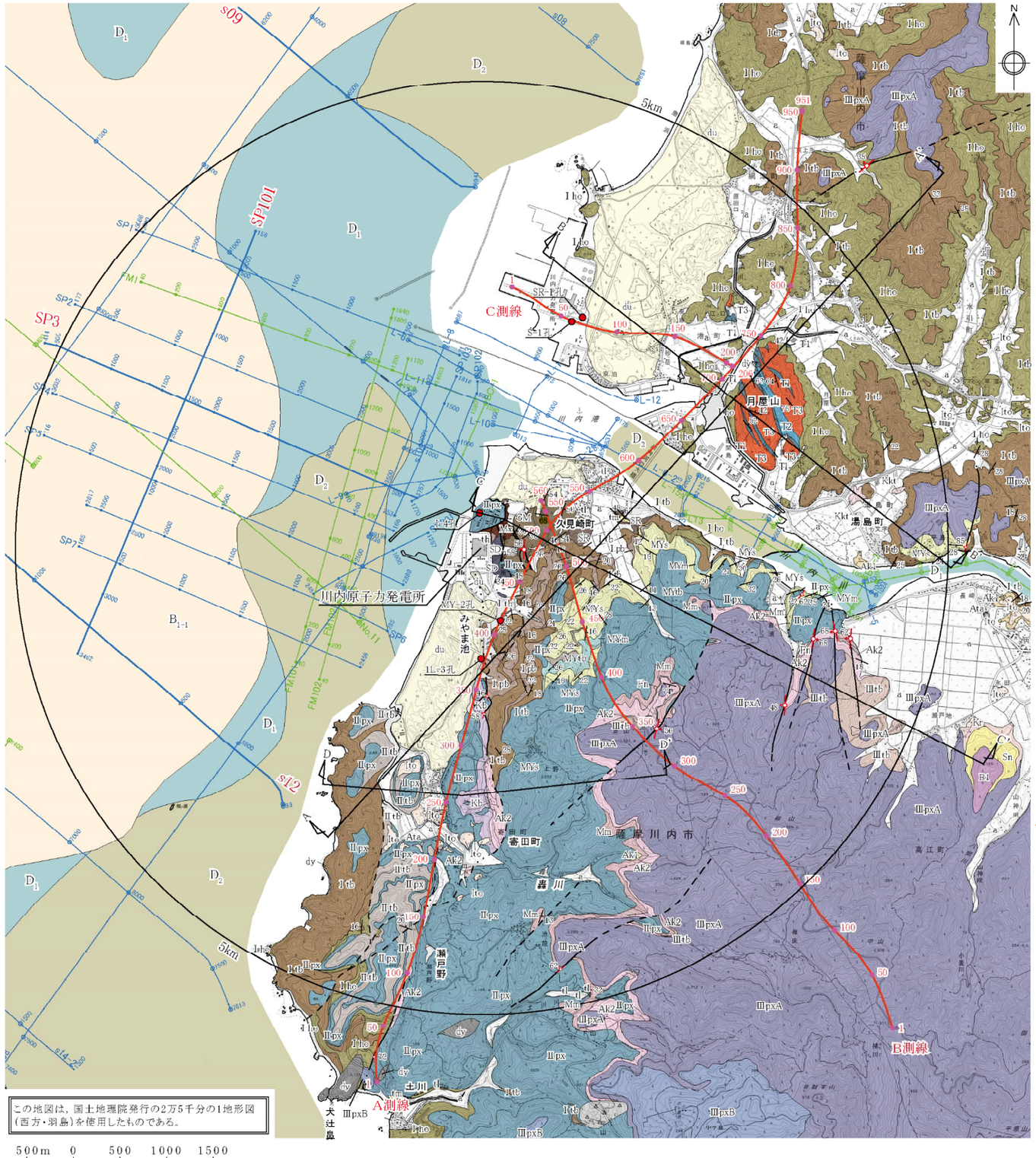


この陸域の地図は，国土地理院発行の2万5千分の1地形図（西方・羽島）を使用したものである。海域の地図は，海上保安庁刊行の5万分の1沿岸の海の基本図（阿久根・串木野）を編集したものである。

第1.2-181図　敷地近傍の地形図



凡例−陸域

- a 沖積層及び盛土
- 崩壊〜崖錐性堆積物
- du 砂丘堆積物
- tl 低位段丘堆積物
- Ito 入戸火砕流堆積物
- Ata 阿多火砕流堆積物
- tm 中位段丘堆積物
- Kkt 加久藤火砕流堆積物
- th 高位段丘堆積物
- B1 川内玄武岩1（溶岩）｝川内玄武岩類
- Sn 川内火砕流堆積物
- dy 貫入岩類
- Kr 倉野火砕流堆積物
- IIIpxB 輝石安山岩溶岩B
- IIIpxA 輝石安山岩溶岩A
- IIItb 輝石安山岩質凝灰角礫岩 ｝北薩火山岩類III
- Ak2 阿久根2火砕流堆積物
- Kb 久保野火砕流堆積物
- Fn 舟川火砕流堆積物
- Mm 百次火砕流堆積物
- Ak1 阿久根1火砕流堆積物
- IIpx 輝石安山岩溶岩
- IItb 凝灰角礫岩〜火山礫凝灰岩・火山角礫岩 ｝北薩火山岩類II
- MYm 凝灰質泥岩
- MYs 凝灰質砂岩
- MYtb 輝石安山岩質凝灰角礫岩・礫岩 ｝みやま層
- Ipb 軽石質凝灰角礫岩
- Itb 火山・凝灰角礫岩
- Iho 角閃石安山岩溶岩 ｝北薩火山岩類I
- SR 滄浪層
- GM 久見崎層
- SD 川内層
- Mx 混在岩
- T3 チャート
- T2 石灰岩
- T1 砂岩・粘板岩 ｝月屋山層
- ｝秩父層群

凡例−海域

［A層を除いた地質図］

- B_{1-1} B_{1-1}層
- D_1 D_1層
- D_2 D_2層

音波探査凡例

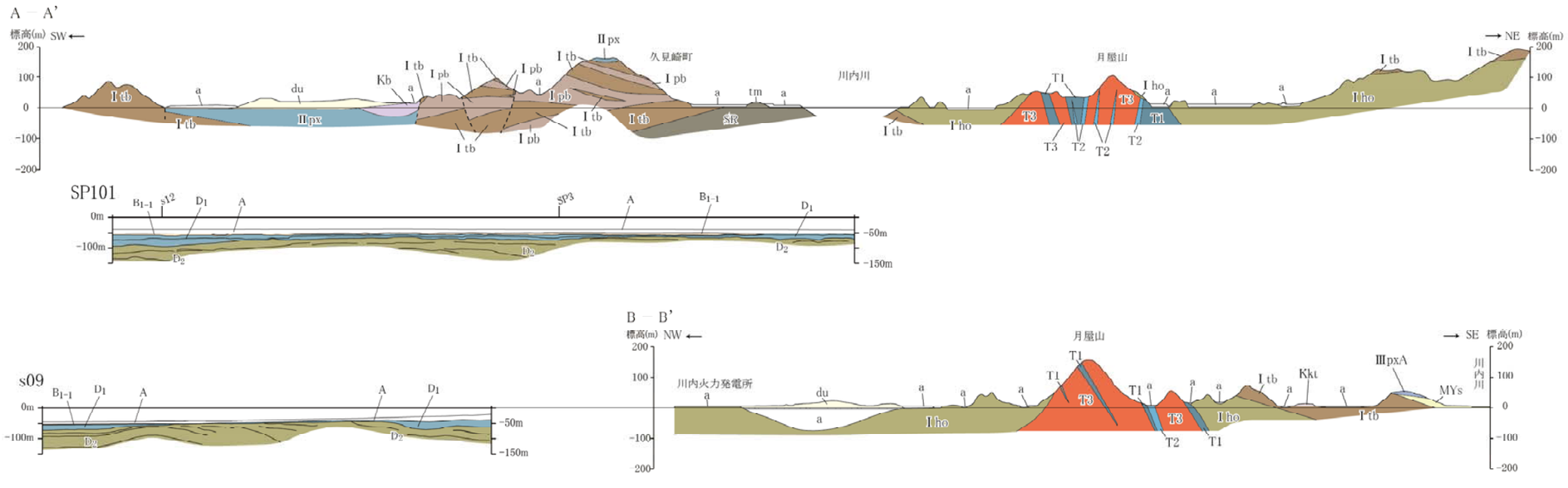
- 九州電力㈱によるシングルチャンネル音波探査（ウォーターガン，スパーカ）
- 九州電力㈱による6chマルチチャンネル音波探査（ウォーターガン）

- 断　層（破線は推定，点線は伏在）
- 60 断層面の走向・傾斜
- 10 層理面の走向・傾斜
- 地質断面位置
- 反射法地震探査解析測線（数字はCMP番号）
- 200
- 1−4孔 ボーリング位置・孔番号

地質時代				陸域の地質	海域の地層
新生代	第四紀	完新世		沖積層・砂丘堆積物など	A　層
		更新世	後期	入戸火砕流堆積物	B_{1-1}層
				阿多火砕流堆積物など	
			中期	加久藤火砕流堆積物など	
			前期		
	新第三紀	鮮新世		北薩火山岩類II・III*	D_1層
		中新世		北薩火山岩類I	D_2層
中生代	白亜紀			秩父層群	E　層
	ジュラ紀				

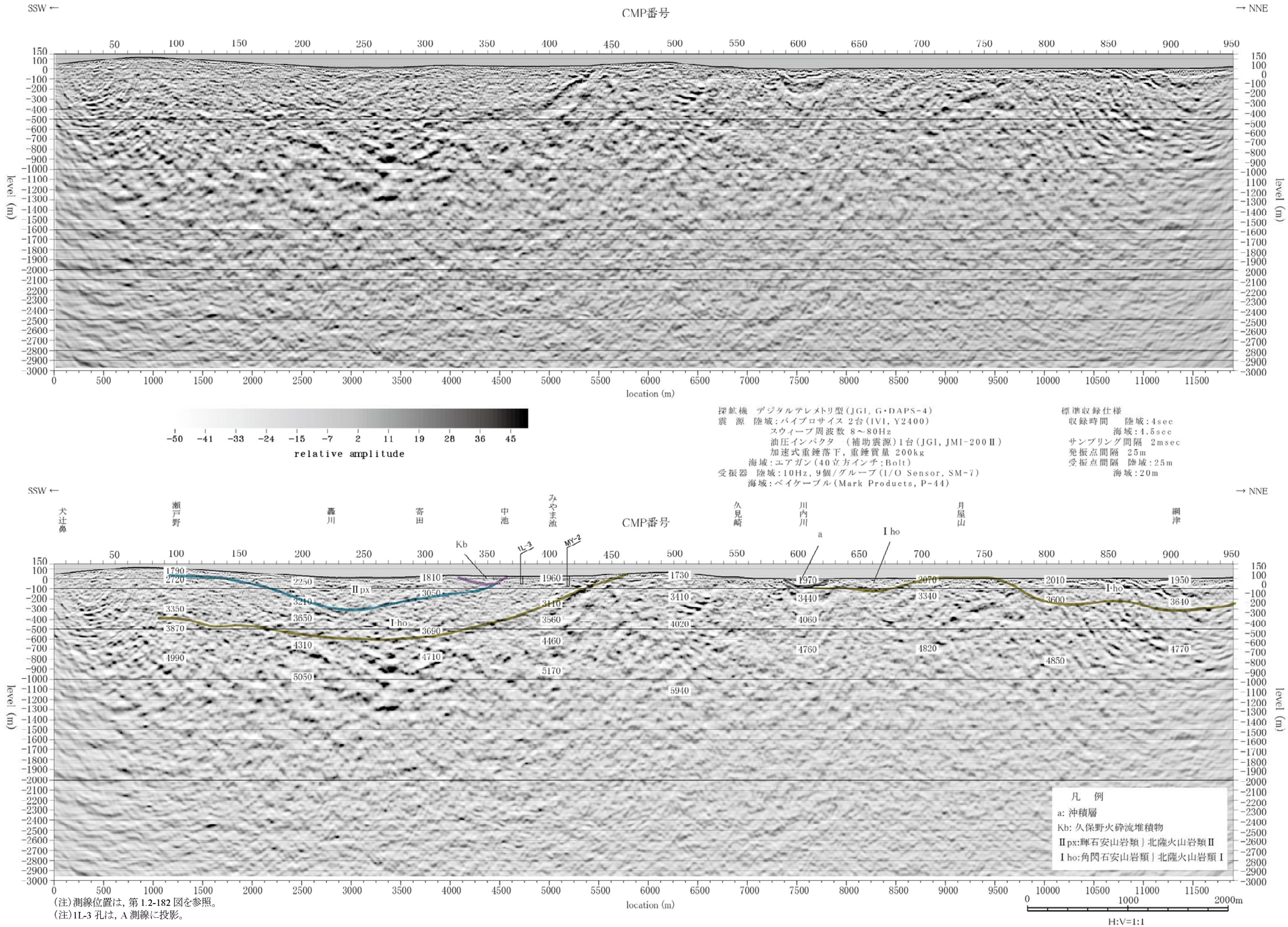
*: 阿久根2火砕流堆積物，久保野火砕流堆積物，舟川火砕流堆積物及び百次火砕流堆積物を含む。

第1.2-182図　敷地近傍の地質図



（注）凡例は、第 1.2-182 図を参照。

第1.2-183図　敷地近傍の地質断面図

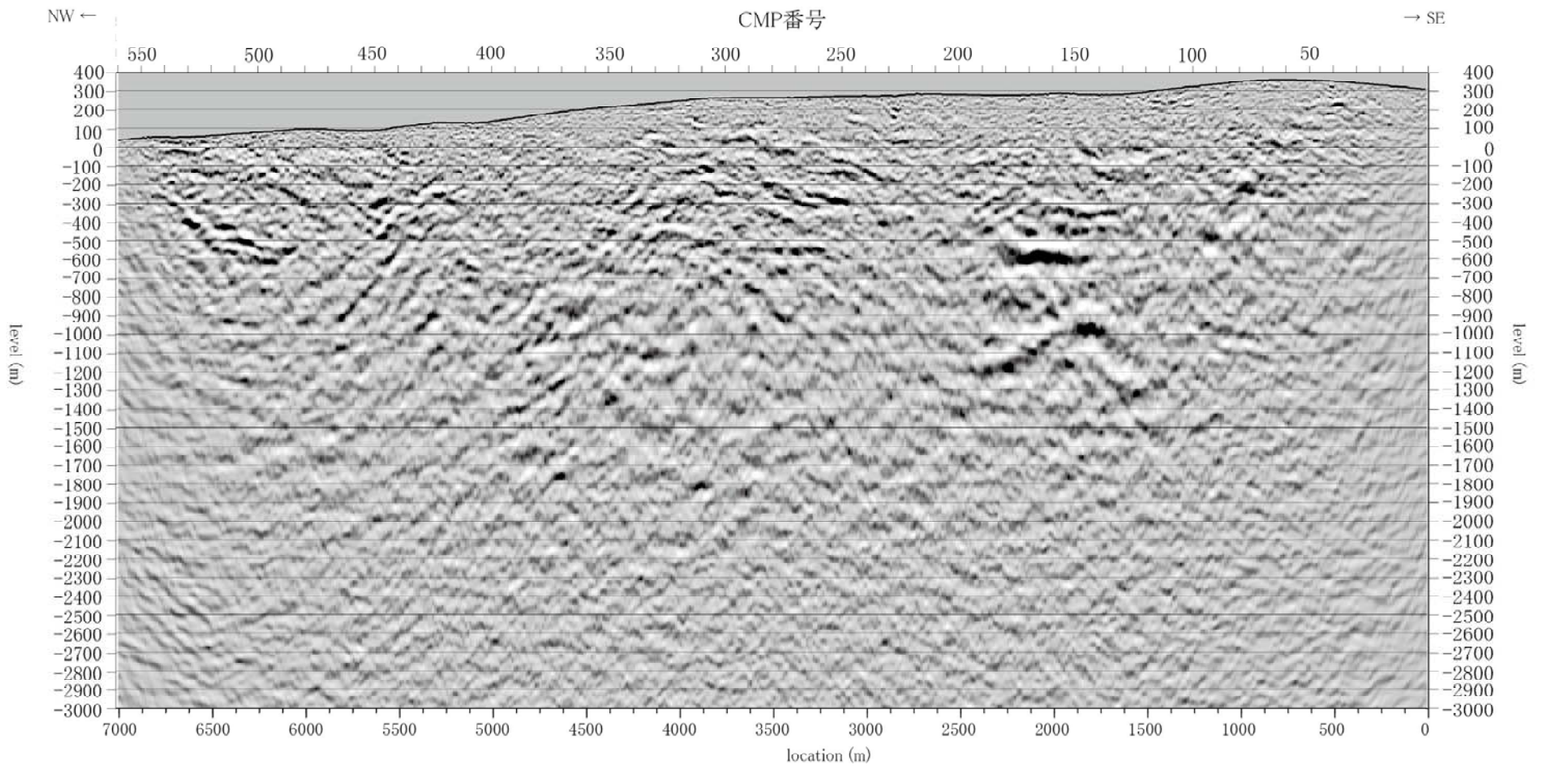


探鉱機　デジタルテレメトリ型(JGI, G・DAPS-4)
震　源　陸域：バイブロサイス 2台(IVI, Y2400)
スウィープ周波数 8～80Hz
油圧インパクタ　(補助震源)1台(JGI, JMI-200Ⅱ)
加速式重錘落下, 重錘質量 200kg
海域：エアガン(40立方インチ；Bolt)
受振器　陸域：10Hz, 9個/グループ(I/O Sensor, SM-7)
海域：ベイケーブル(Mark Products, P-44)

標準収録仕様
収録時間　陸域：4sec
海域：4.5sec
サンプリング間隔　2msec
発振点間隔　25m
受振点間隔　陸域：25m
海域：20m

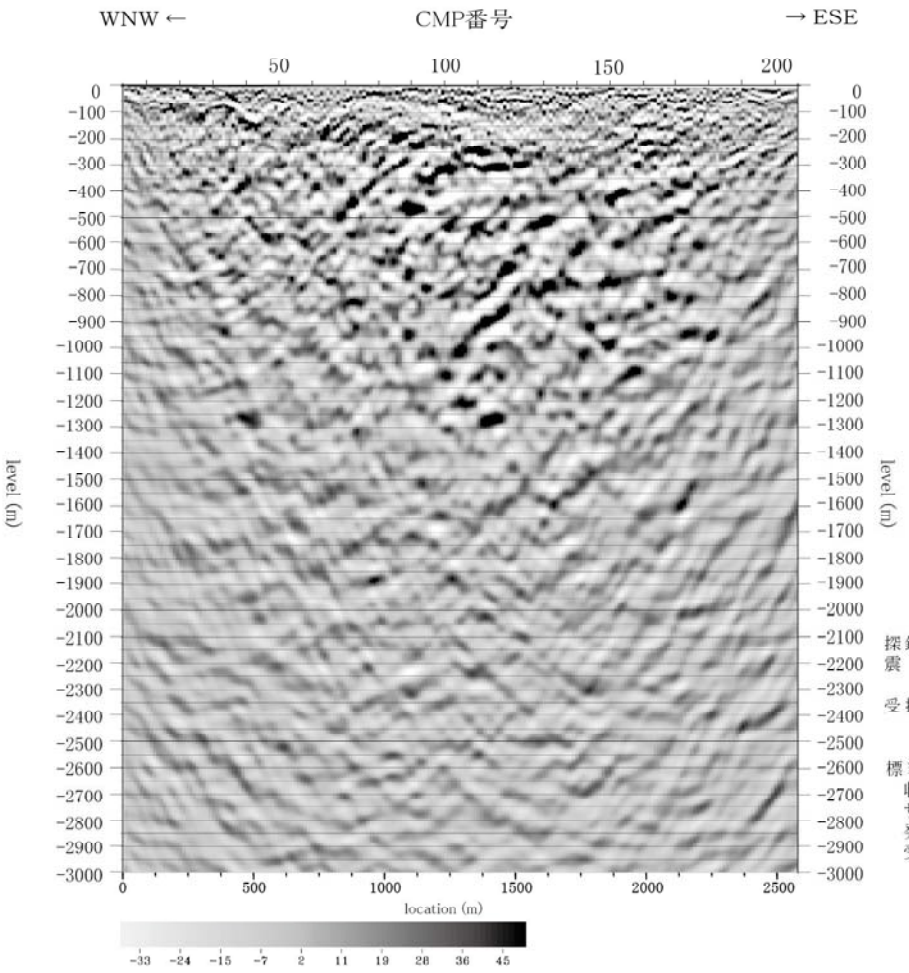
(注)測線位置は, 第 1.2-182 図を参照。
(注)1L-3 孔は, A 測線に投影。

第1.2-184図(1)　反射法地震探査による深度断面とその解釈(A測線)



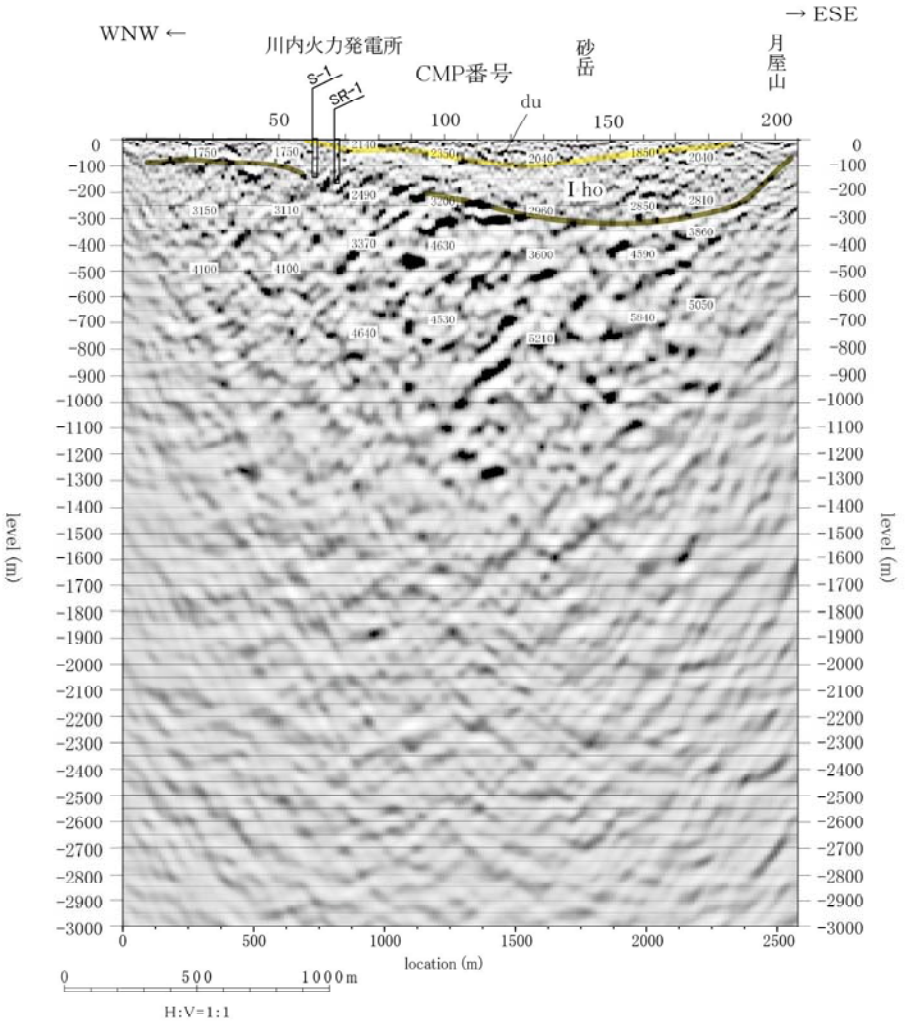
(注)測線位置は, 第 1.2-182 図を参照。

第1.2-184図(2)　反射法地震探査による深度断面とその解釈(B測線)



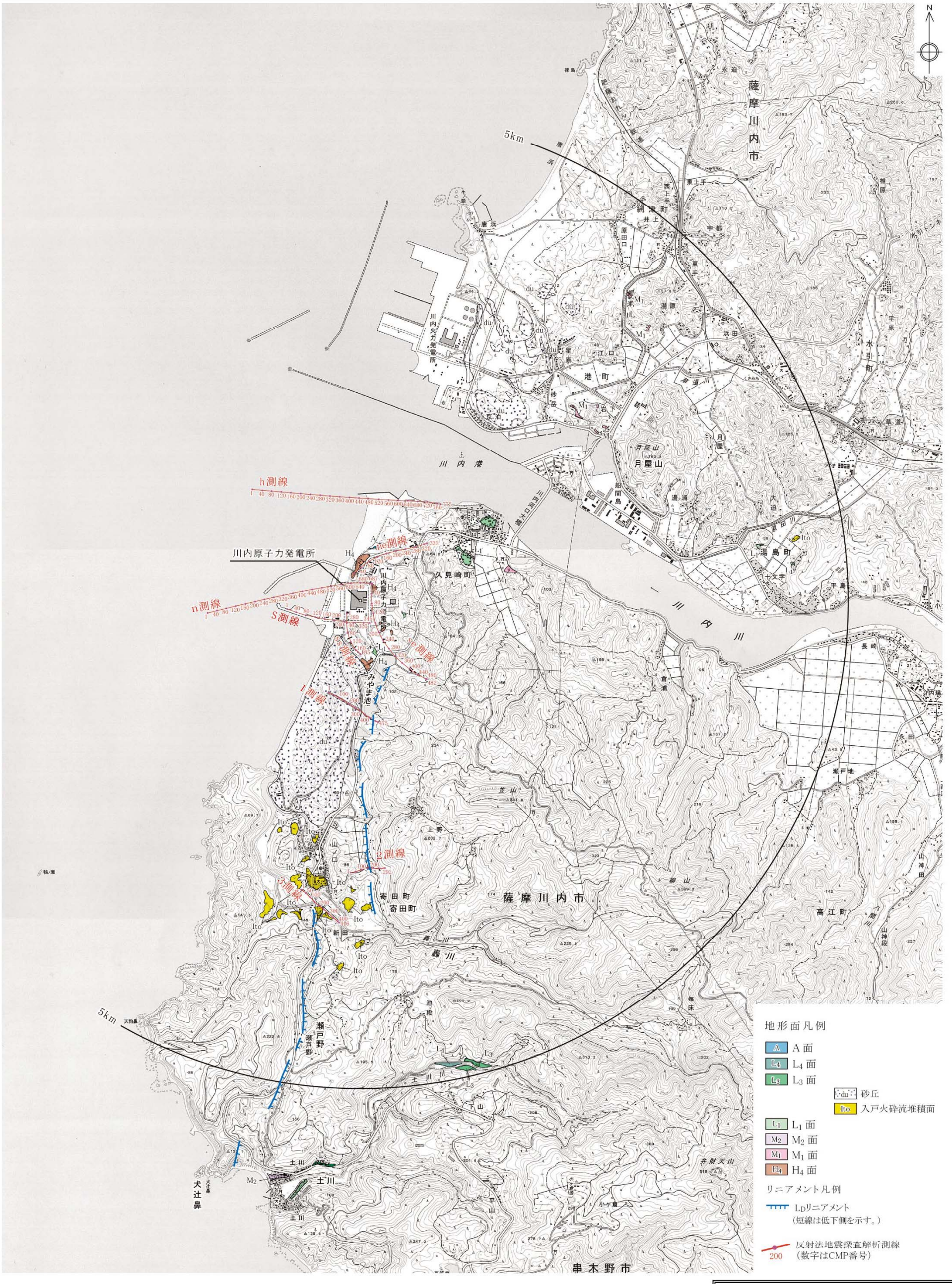
探鉱機　デジタルテレメトリ型（JGI, G・DAPS-4）
震　源　バイブロサイス 2台（IVI, Y2400）
　　スウィープ周波数 8～80Hz
受振器　10Hz, 9個/グループ
　　（I/O Sensor, SM-7）

標準収録仕様
　収録時間　4sec
　サンプリング間隔　2msec
　発振点間隔　25m
　受振点間隔　25m

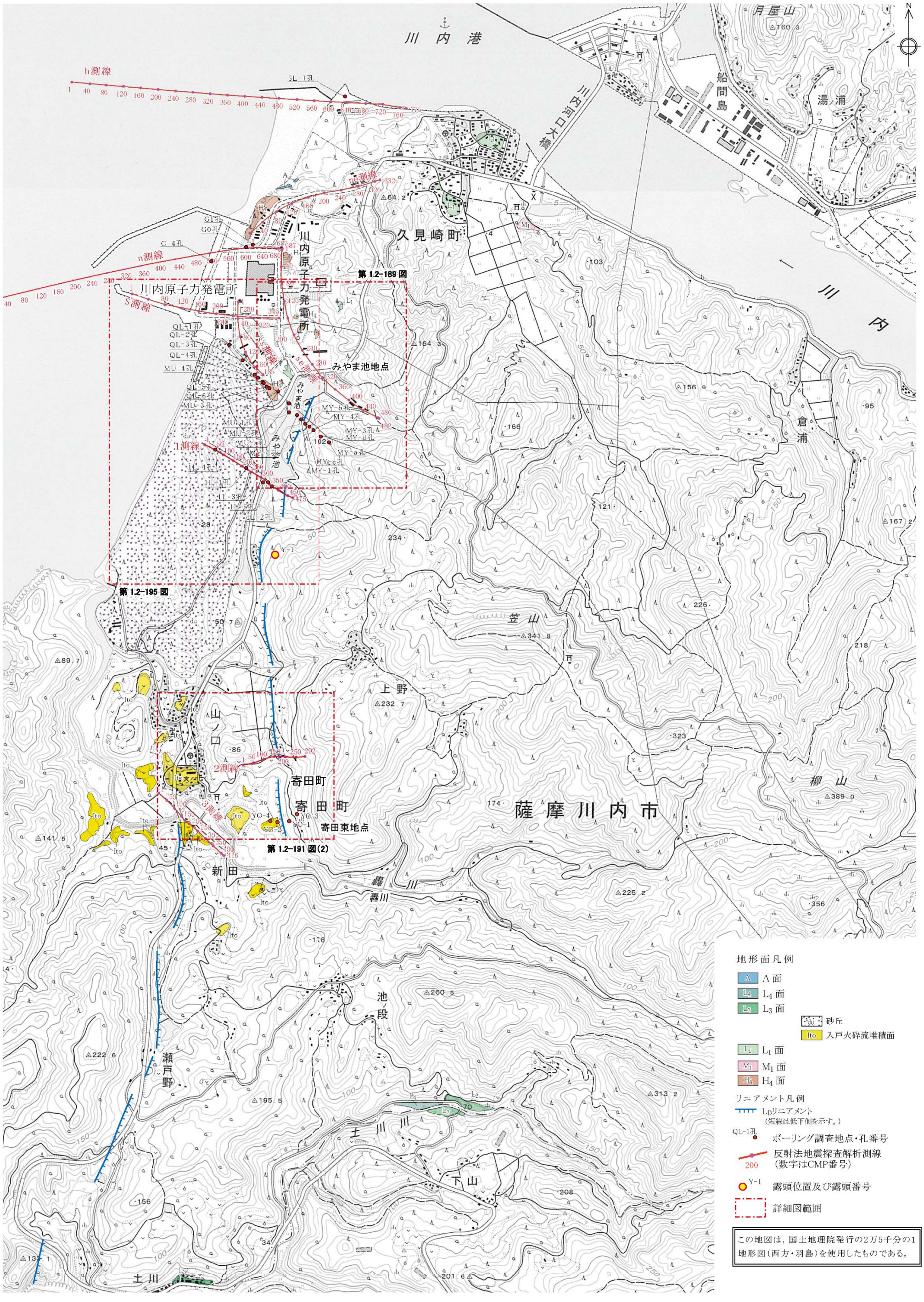


（注）測線位置は，第 1.2-182 図を参照。
（注）SR-1 孔は，C 測線に投影。

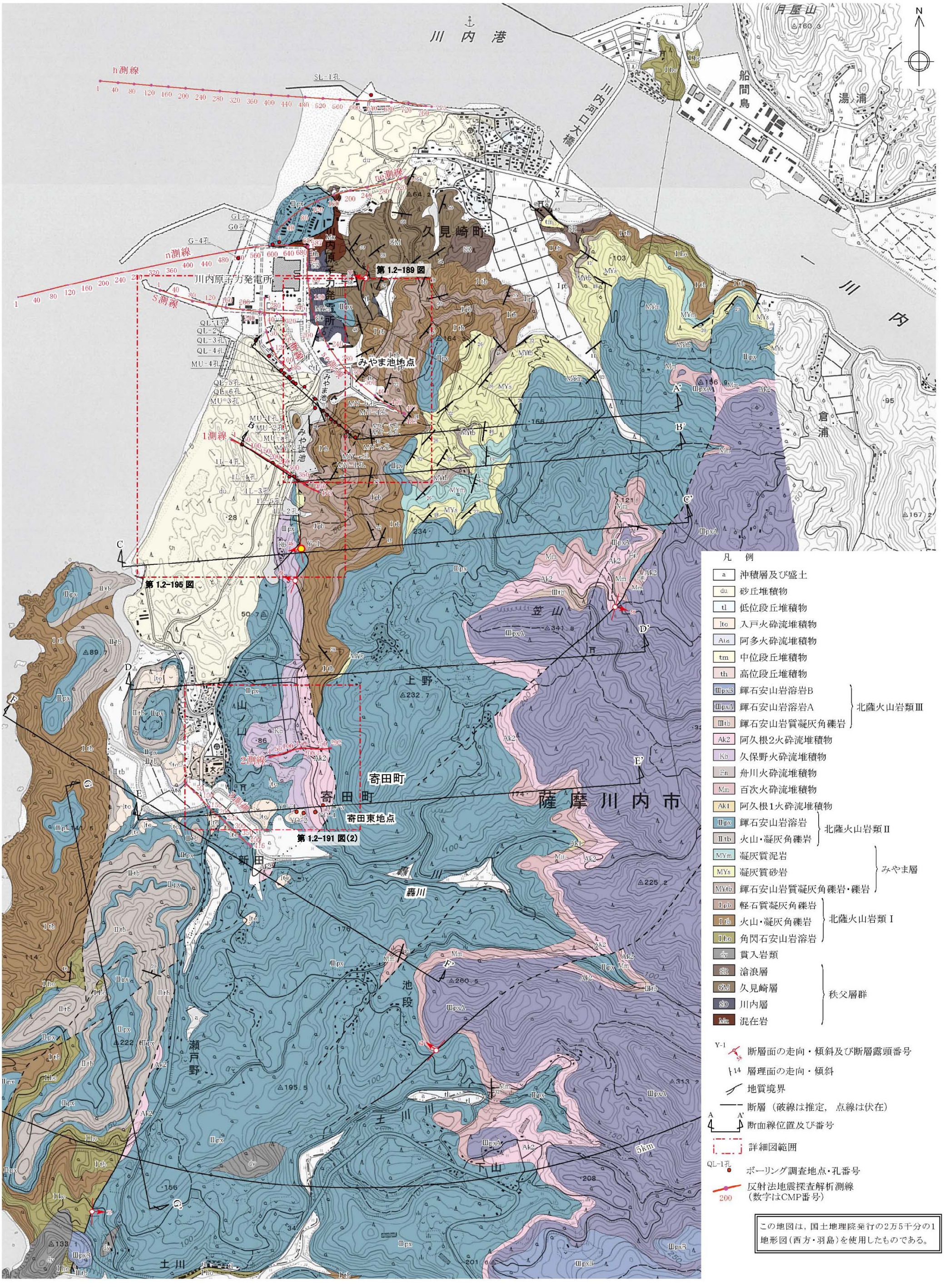
第1.2-184図（3）　反射法地震探査による深度断面とその解釈（C測線）



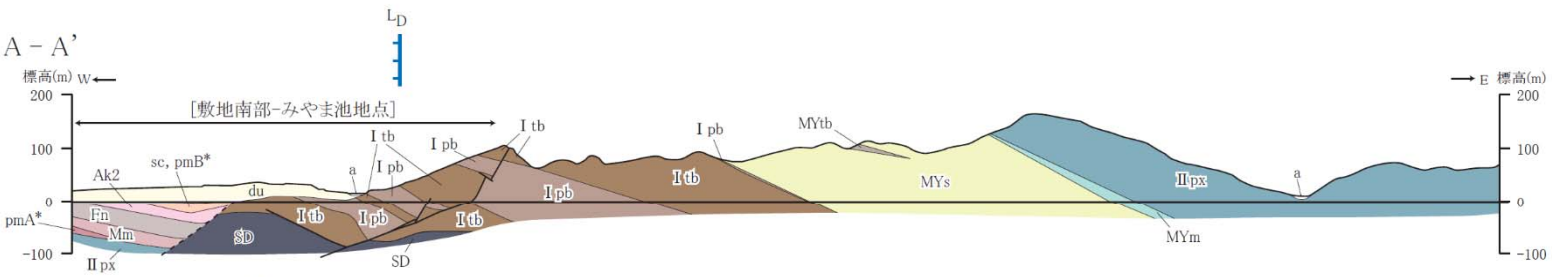
第1.2-185図　敷地近傍陸域の空中写真判読図



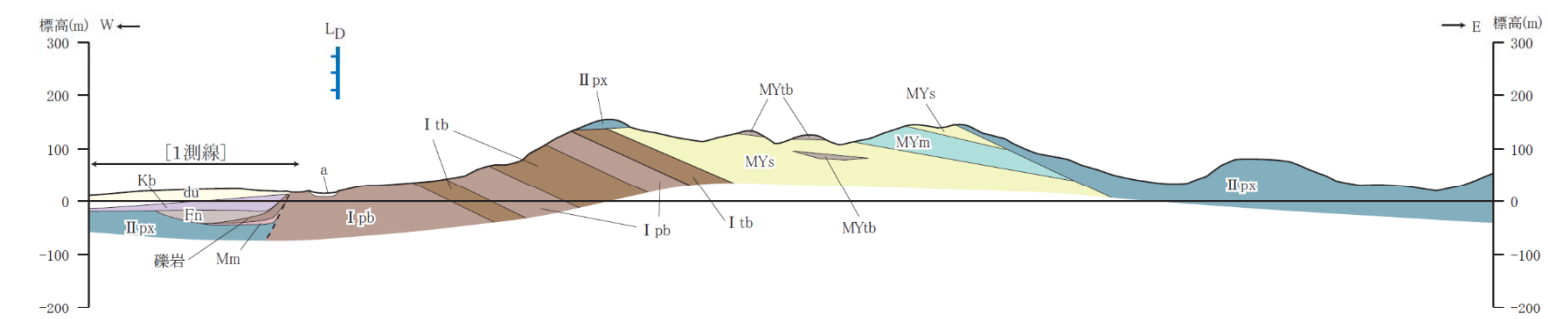
第1.2-186図　寄田東リニアメント周辺の空中写真判読図

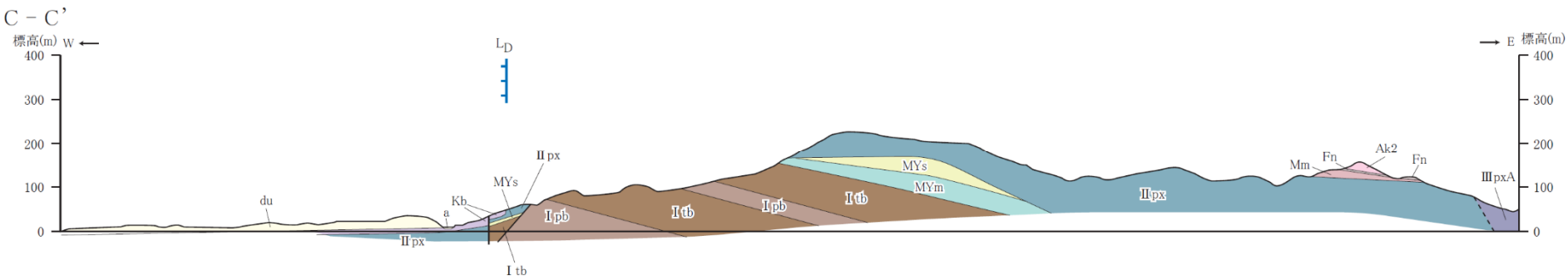


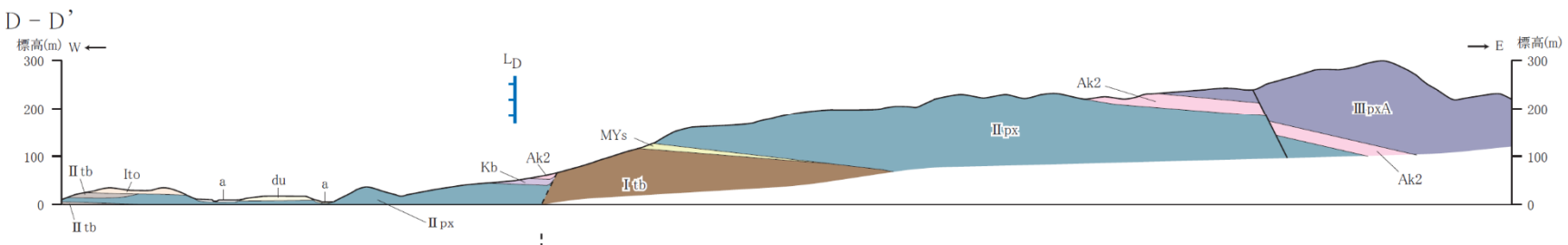
第1.2-187図　寄田東リニアメント周辺の地質図

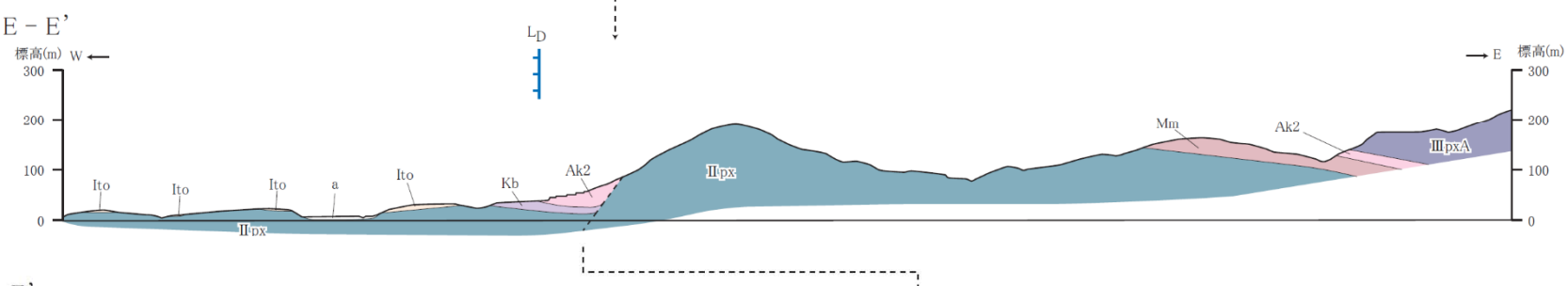


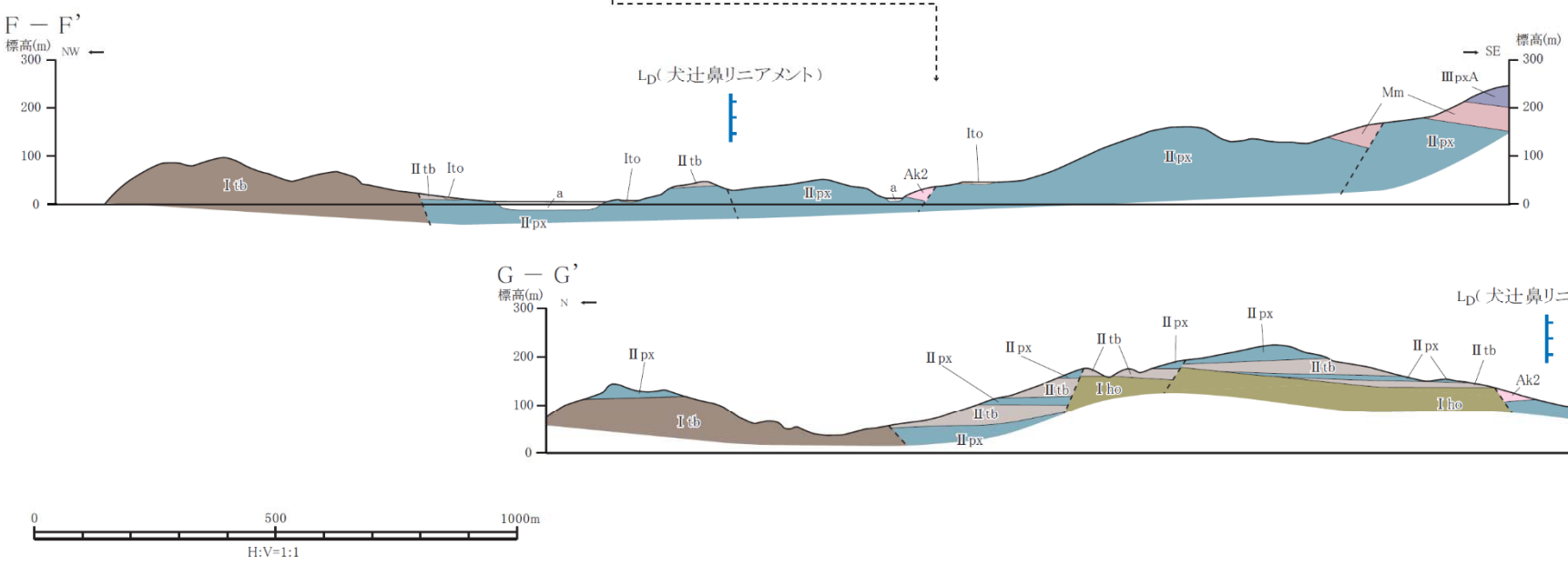
（注）＊は第1.2-195図を参照。





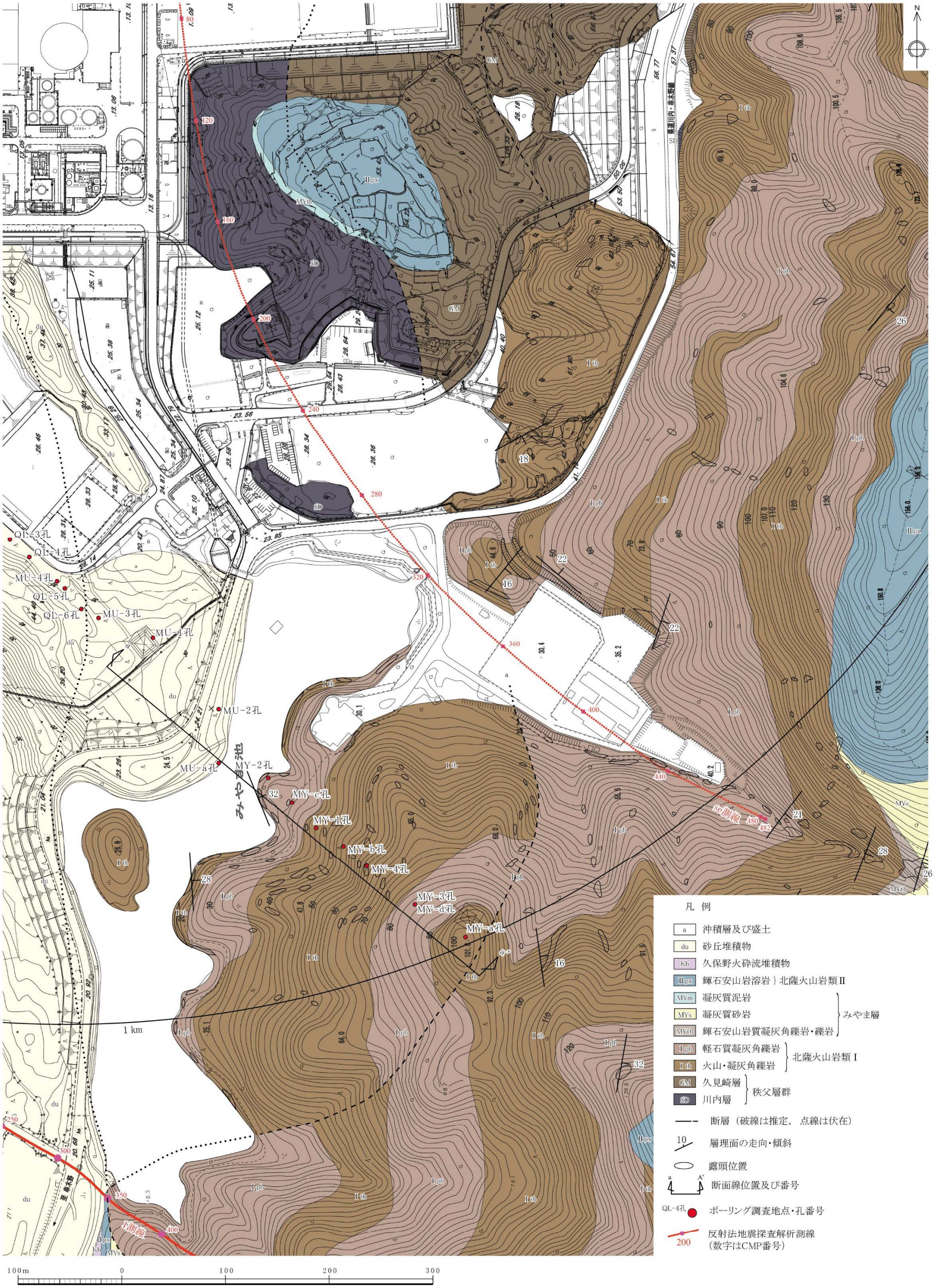




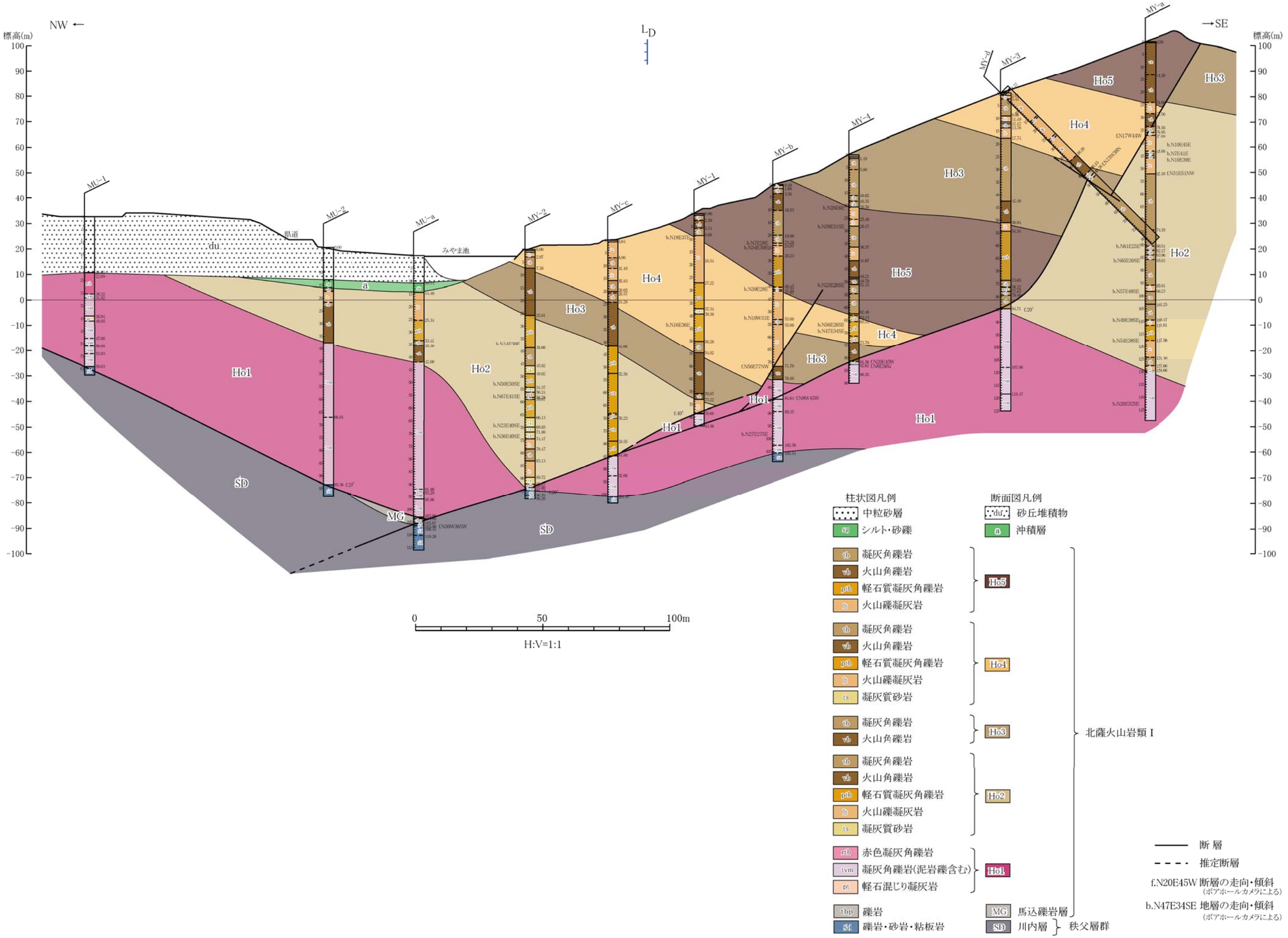


（注）凡例は、第 1.2-187 図を参照。

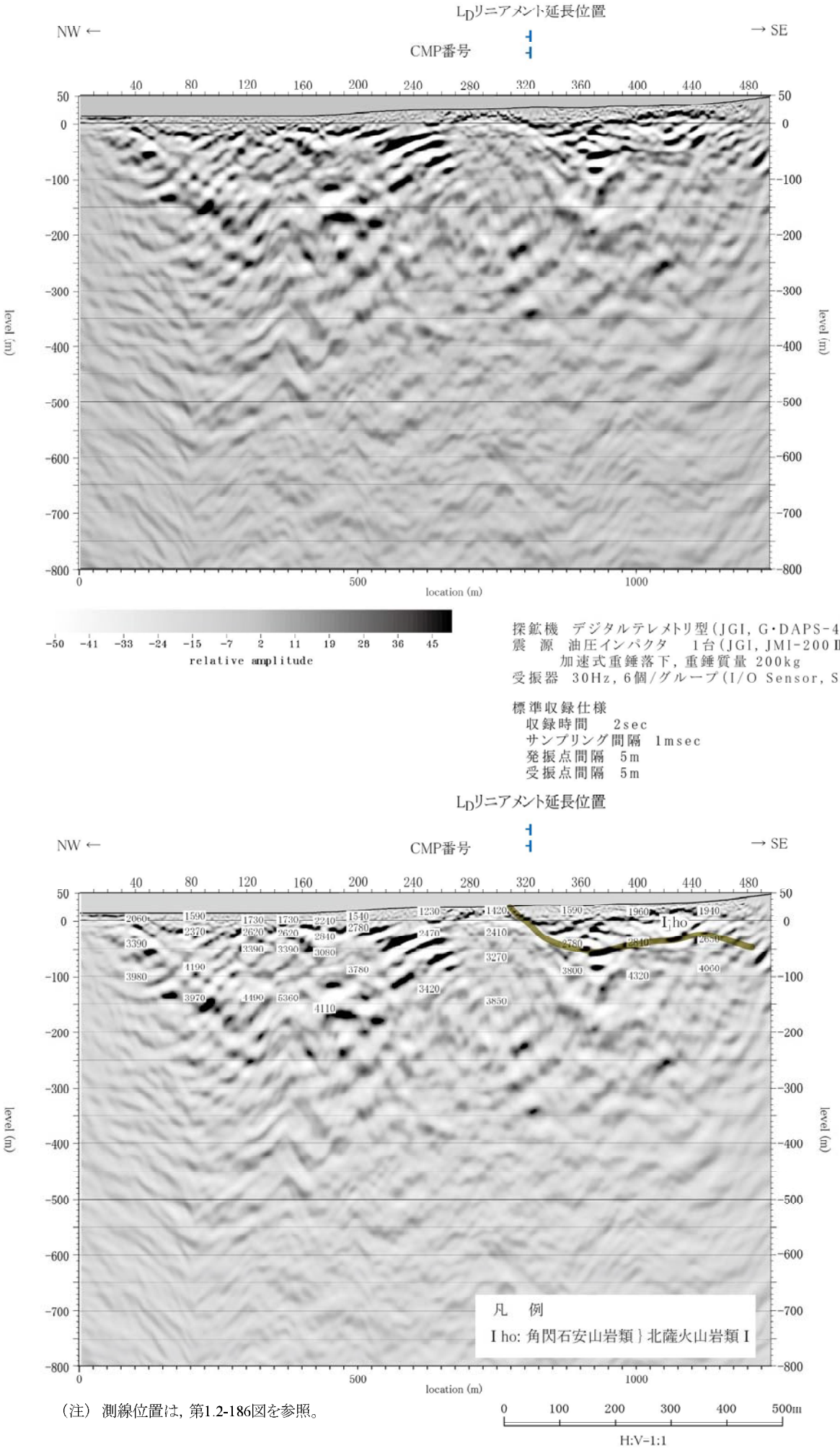
第1.2-188図　寄田東リニアメント周辺の地質断面図



第1.2-189図　みやま池地点の地質図・ボーリング調査位置図

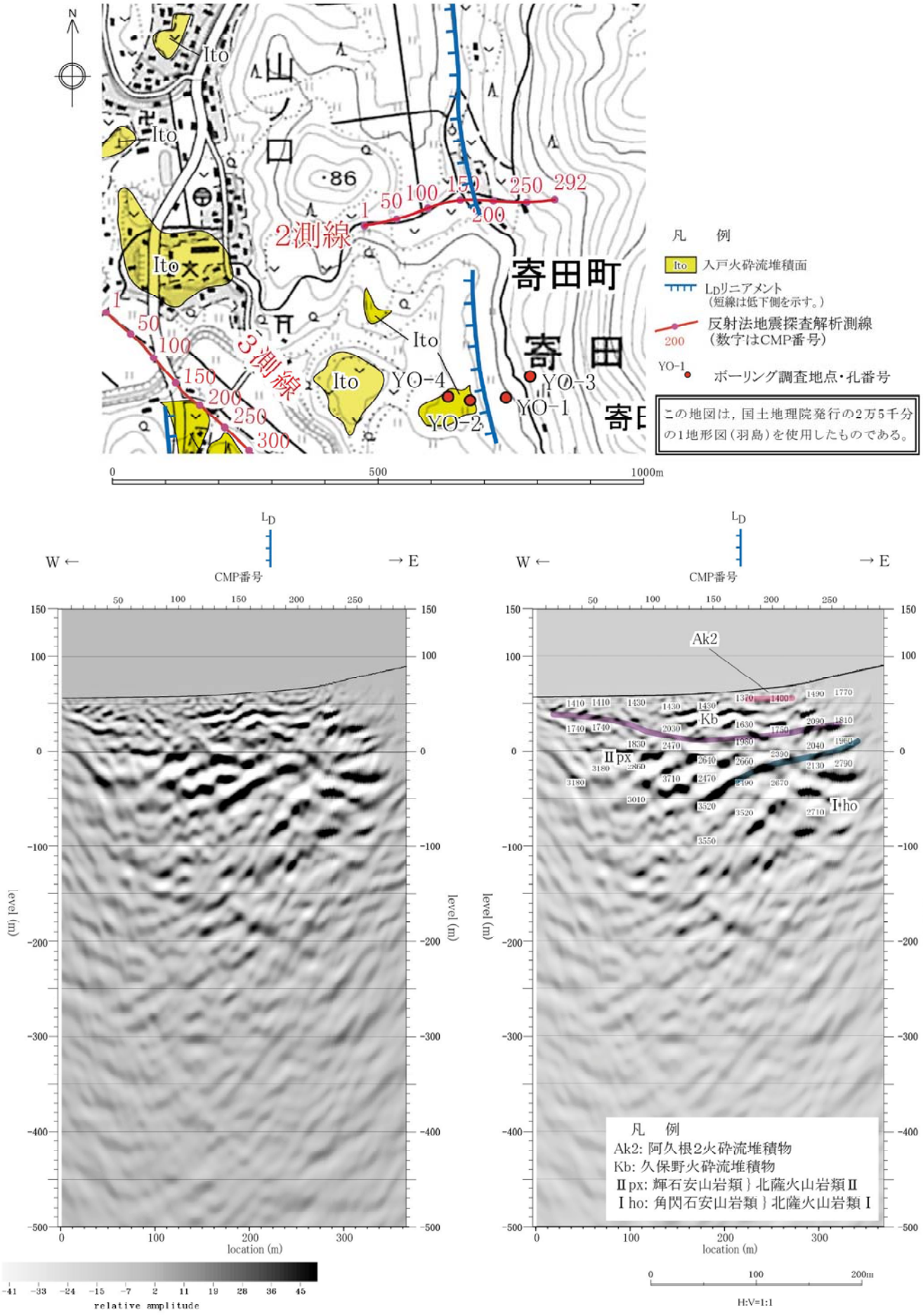


第1.2-190図　地質断面図（みやま池地点）



（注）測線位置は，第1.2-186図を参照。

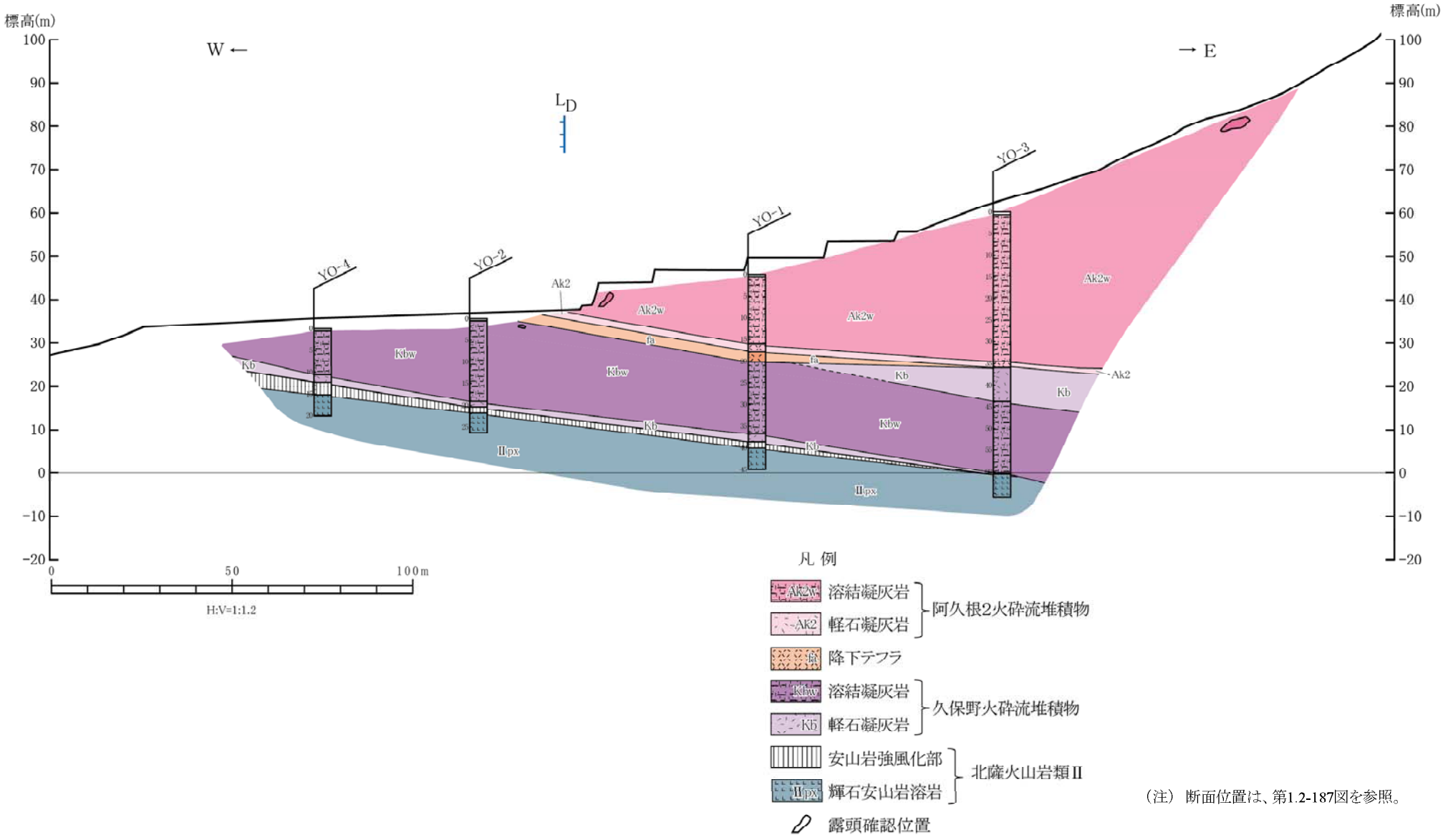
第1.2-191図（1） 反射法地震探査による深度断面とその解釈（se測線）



探鉱機　デジタルテレメトリ型（JGI, G･DAPS-4）
震　源　油圧インパクタ　1台（JGI, JMI-200Ⅱ）
　　加速式重錘落下，重錘質量 200kg
受振器　30Hz，6個/グループ（I/O Sensor, SM-11）

標準収録仕様
収録時間　2sec
サンプリング間隔　1msec
発振点間隔　2.5m
受振点間隔　5m

第1.2-191図（2）　反射法地震探査による深度断面とその解釈（2測線）



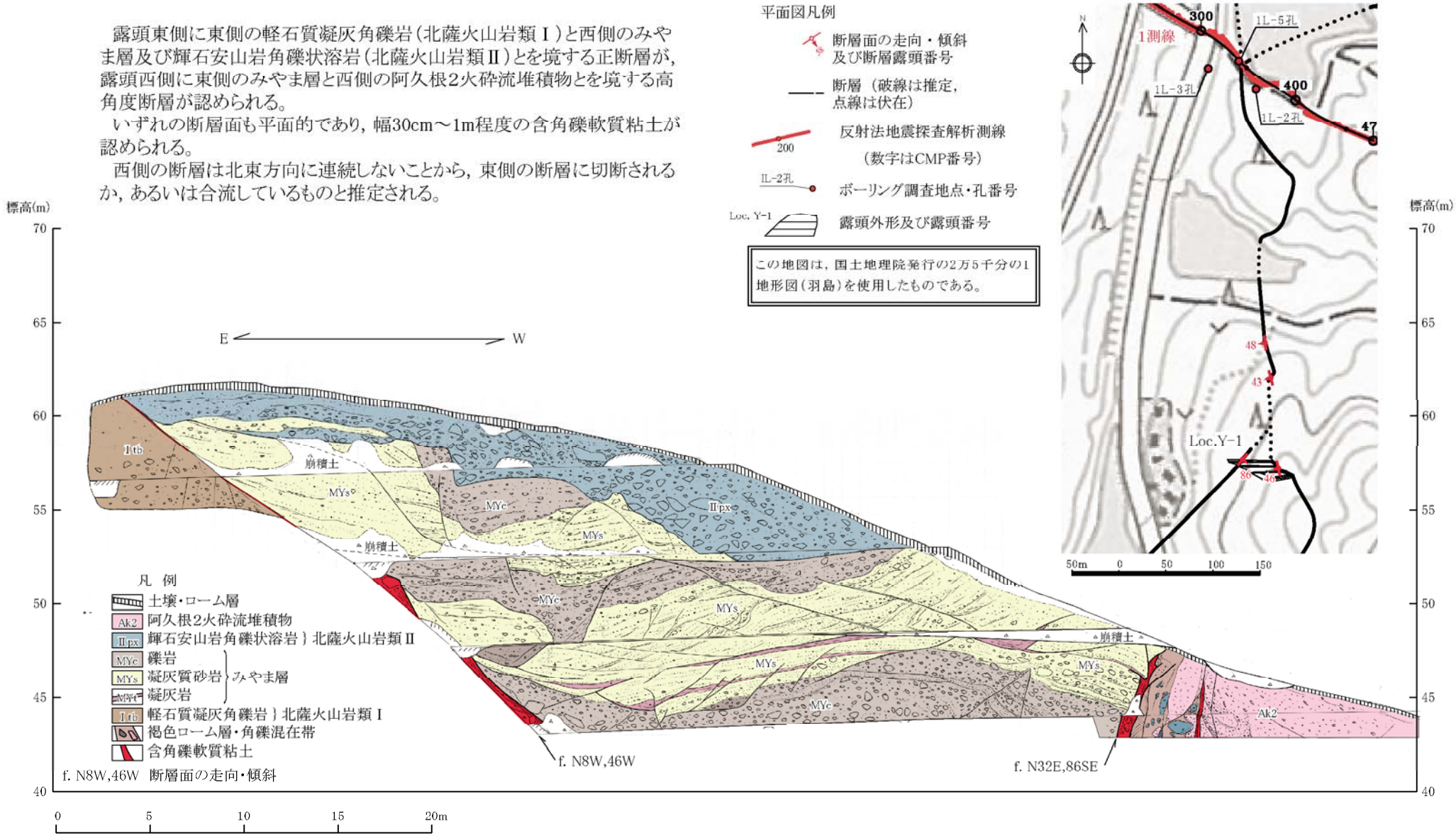
（注） 断面位置は、第1.2-187図を参照。

第1.2-192図　地質断面図（寄田東地点）

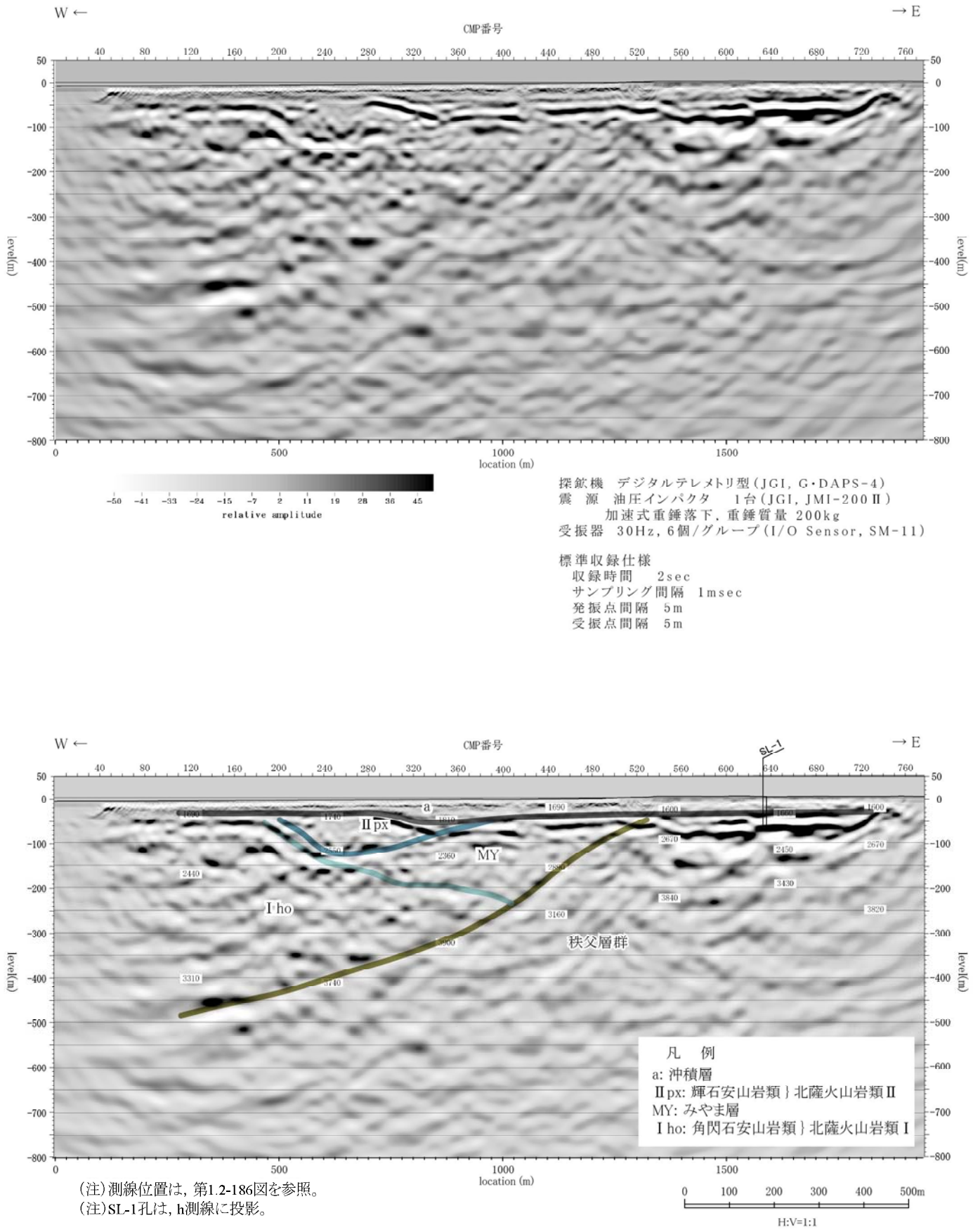
露頭東側に東側の軽石質凝灰角礫岩（北薩火山岩類Ⅰ）と西側のみやま層及び輝石安山岩角礫状溶岩（北薩火山岩類Ⅱ）とを境する正断層が，露頭西側に東側のみやま層と西側の阿久根2火砕流堆積物とを境する高角度断層が認められる。

いずれの断層面も平面的であり，幅30cm～1m程度の含角礫軟質粘土が認められる。

西側の断層は北東方向に連続しないことから，東側の断層に切断されるか，あるいは合流しているものと推定される。

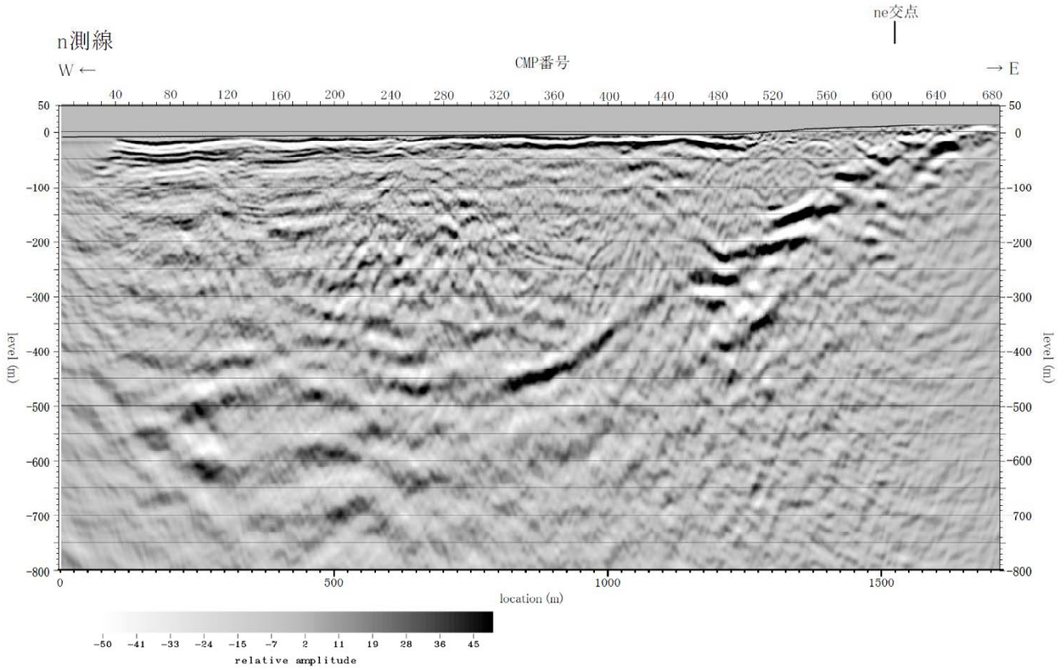


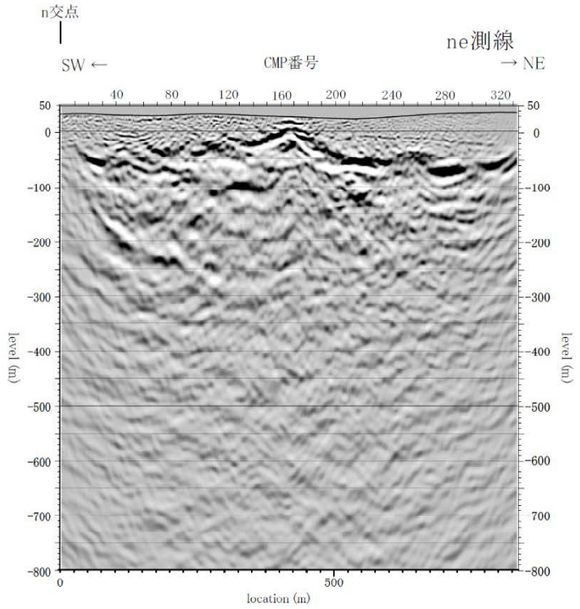
第1.2-193図　露頭スケッチ（Loc.Y-1，薩摩川内市みやま池南方）



(注)測線位置は, 第1.2-186図を参照。
(注)SL-1孔は, h測線に投影。

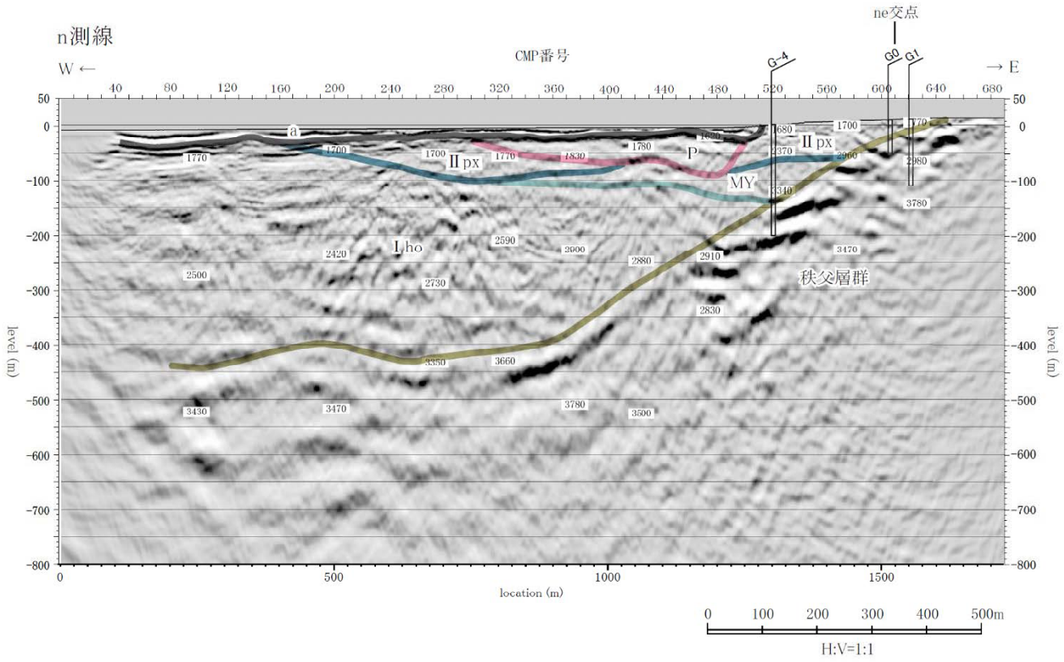
第1.2-194図(1)　反射法地震探査による深度断面とその解釈(h測線)

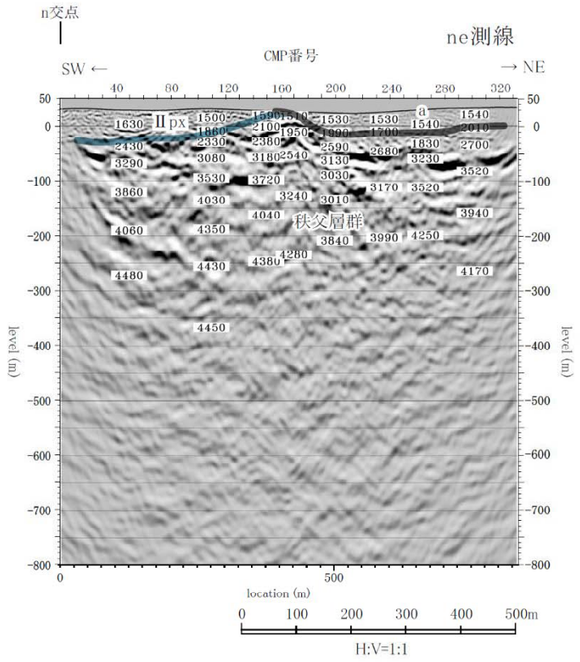




探鉱機　デジタルテレメトリ型（JGI, G･DAPS-4）
震　源　油圧インパクター　1台（JGI, JMI-200Ⅱ）
　　加速式重錘落下，重錘質量 200kg
受振器　30Hz，6個/グループ（I/O Sensor, SM-11）

標準収録仕様
　収録時間　2sec
　サンプリング間隔　1msec
　発振点間隔　5m
　受振点間隔　5m

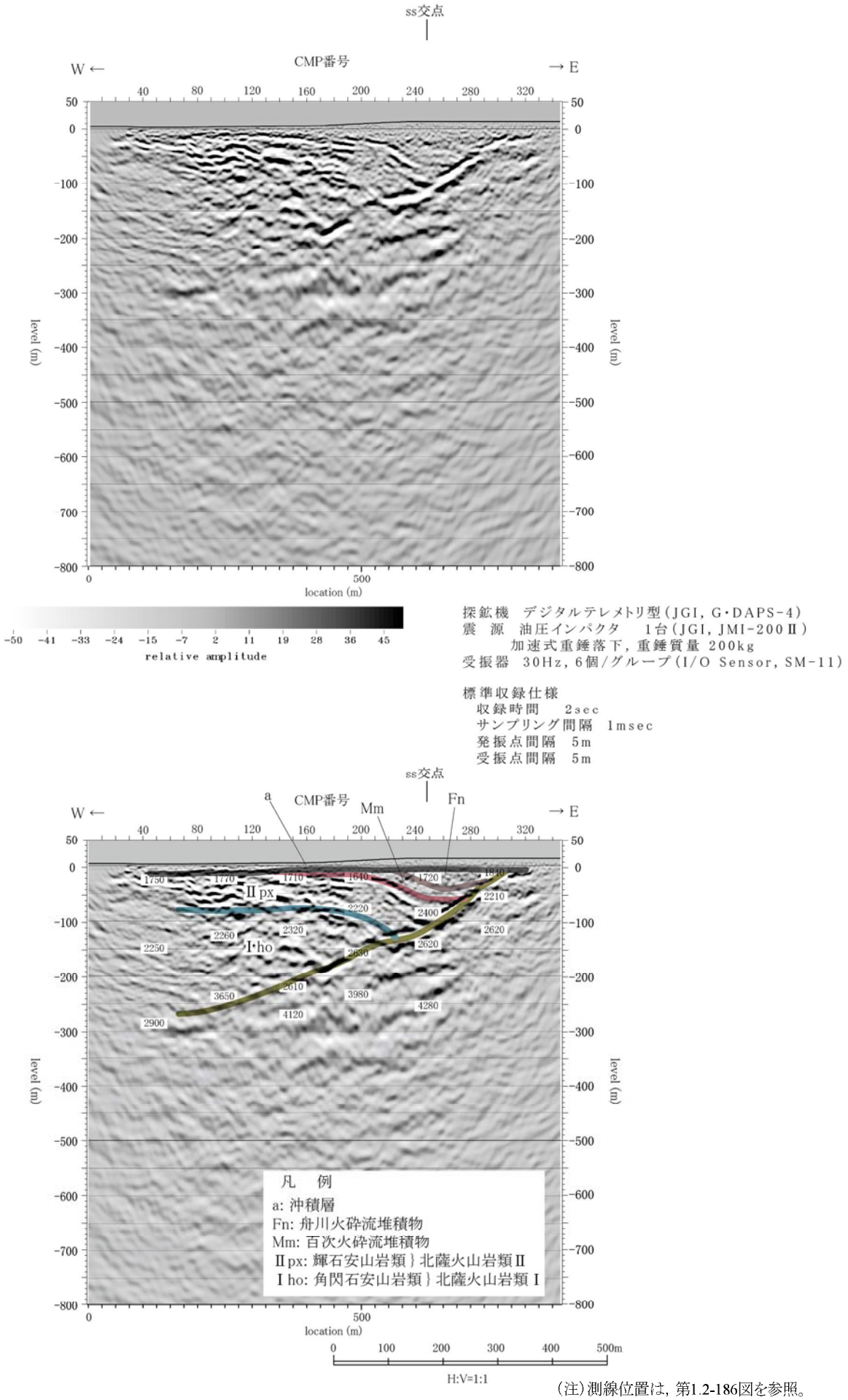




凡　例
a: 沖積層
P: 阿久根2火砕流堆積物など
Ⅱpx: 輝石安山岩類 } 北薩火山岩類Ⅱ
MY: みやま層
Ⅰho: 角閃石安山岩類 } 北薩火山岩類Ⅰ

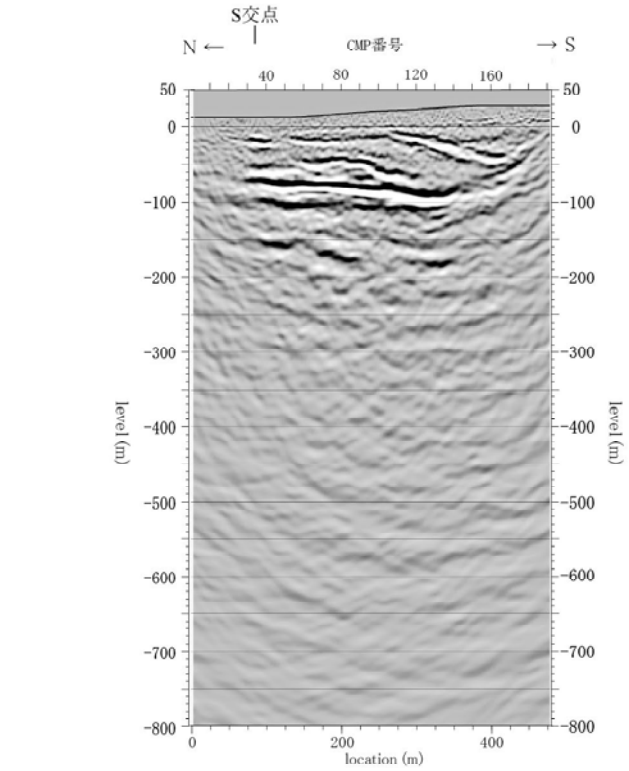
（注）測線位置は，第1.2-186図を参照。
（注）G-4孔及びG1孔は，n 測線に投影。

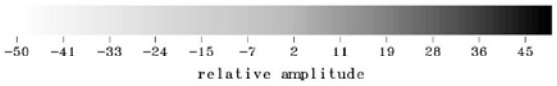
第1.2-194図（2）　反射法地震探査による深度断面とその解釈（n測線、ne測線）



(注)測線位置は, 第1.2-186図を参照。

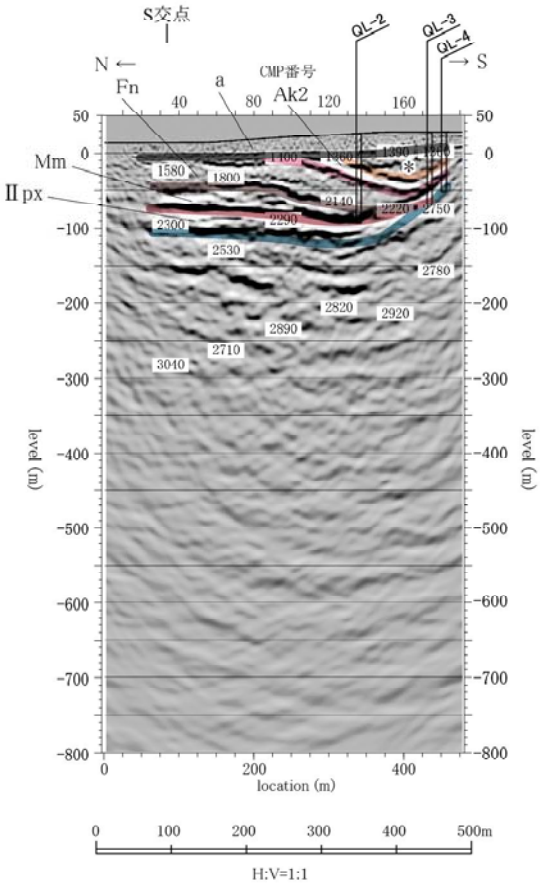
第1.2-194図(3)　反射法地震探査による深度断面とその解釈(S測線)





探鉱機　デジタルテレメトリ型（JGI, G･DAPS-4）
震　源　油圧インパクター 1台（JGI, JMI-200Ⅱ）
　　加速式重錘落下，重錘質量 200kg
受振器　30Hz，6個/グループ（I/O Sensor, SM-11）

標準収録仕様
収録時間　2sec
サンプリング間隔　1msec
発振点間隔　5m
受振点間隔　5m

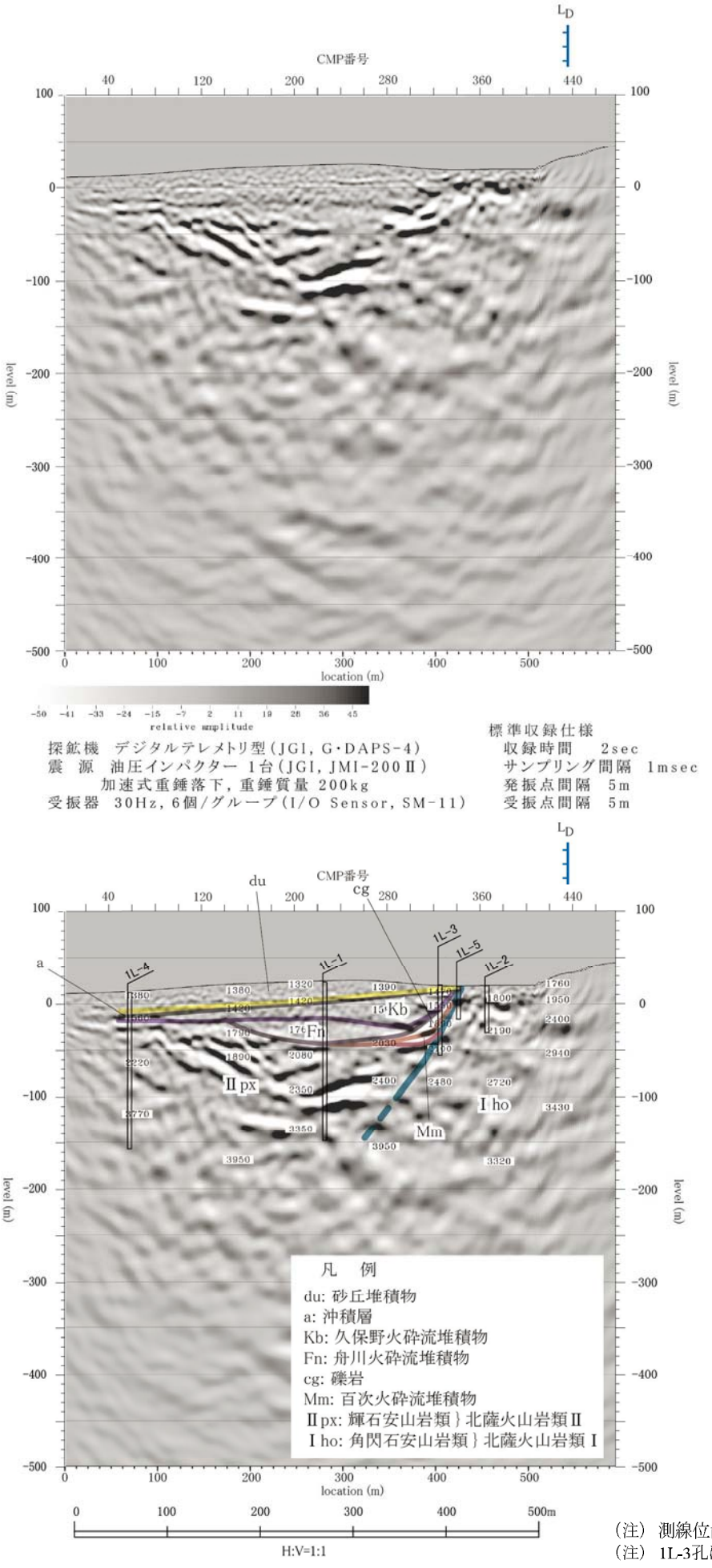


凡　例

a: 沖積層
*: 阿久根2火砕流堆積物などの二次堆積物
Ak2: 阿久根2火砕流堆積物
Fn: 舟川火砕流堆積物
Mm: 百次火砕流堆積物
Ⅱpx: 輝石安山岩類｝北薩火山岩類Ⅱ

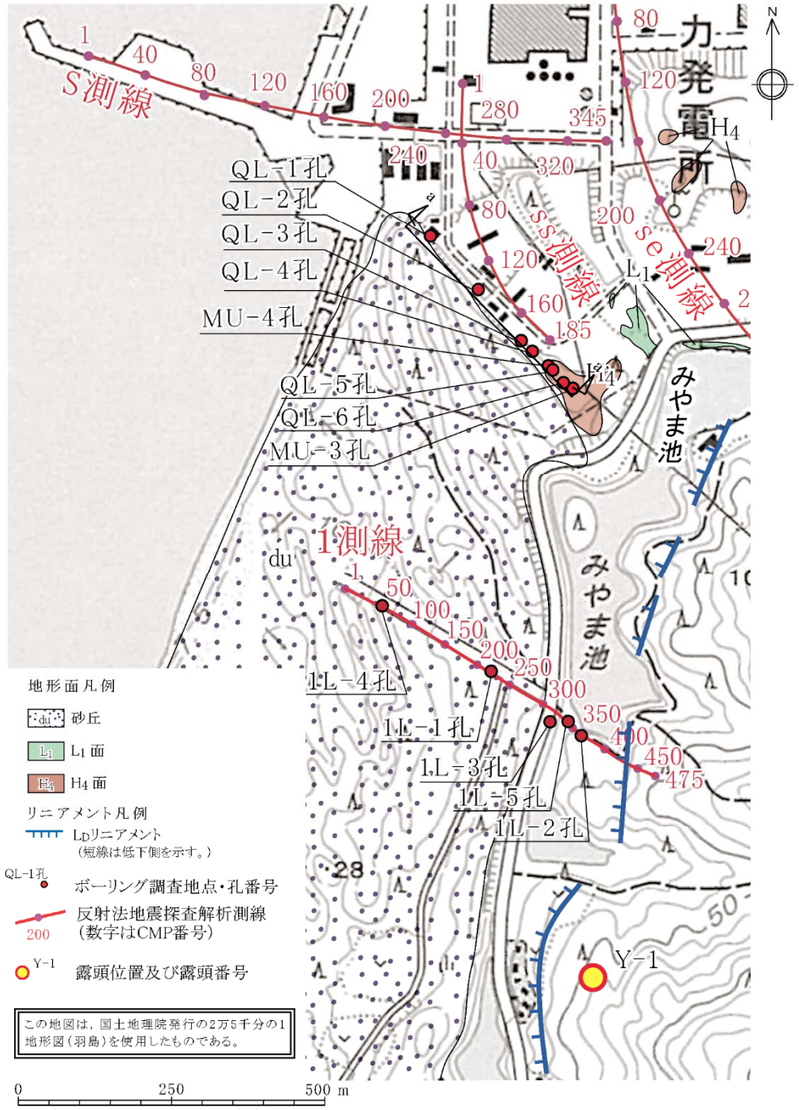
（注）測線位置は，第1.2-186図を参照。
（注）各ボーリング坑は，ss測線に投影。

第1.2-194図（4）　反射法地震探査による深度断面とその解釈（ss測線）



（注）測線位置は，第1.2-186図を参照。
（注）1L-3孔は，1測線に投影。

第1.2-194図(5)　反射法地震探査による深度断面とその解釈(1測線)

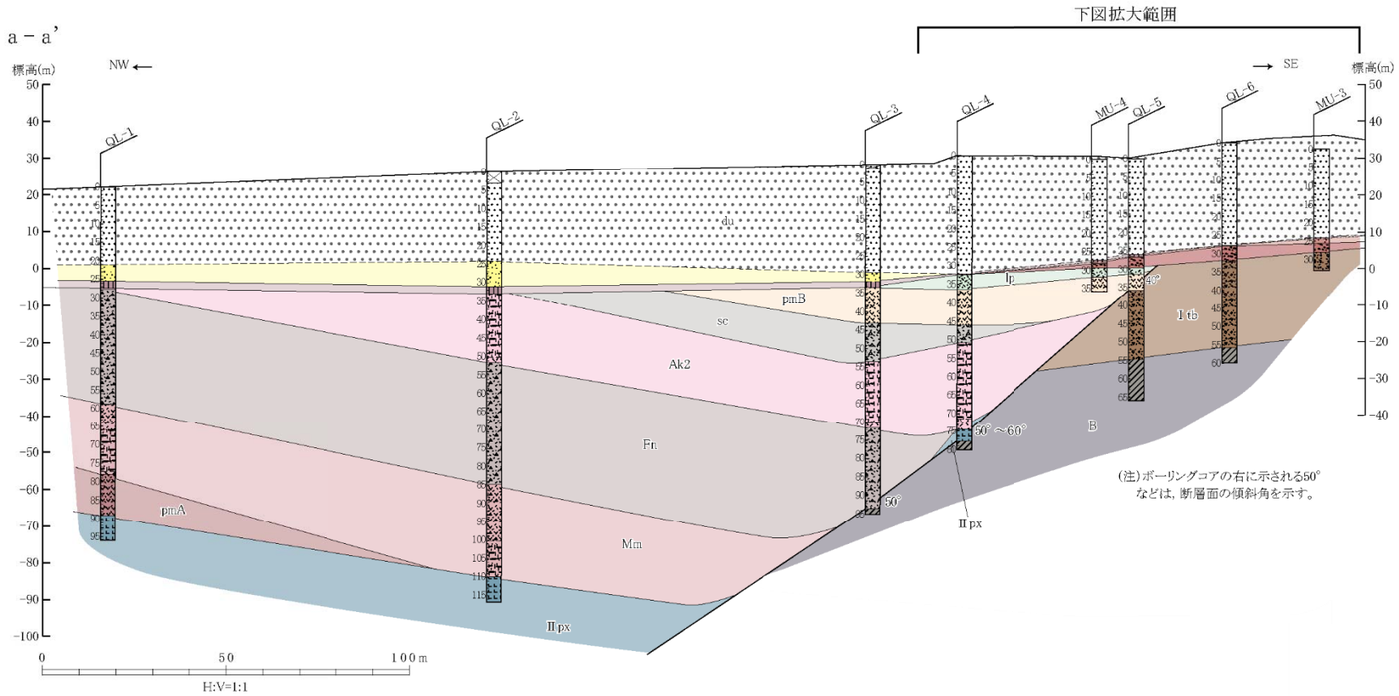


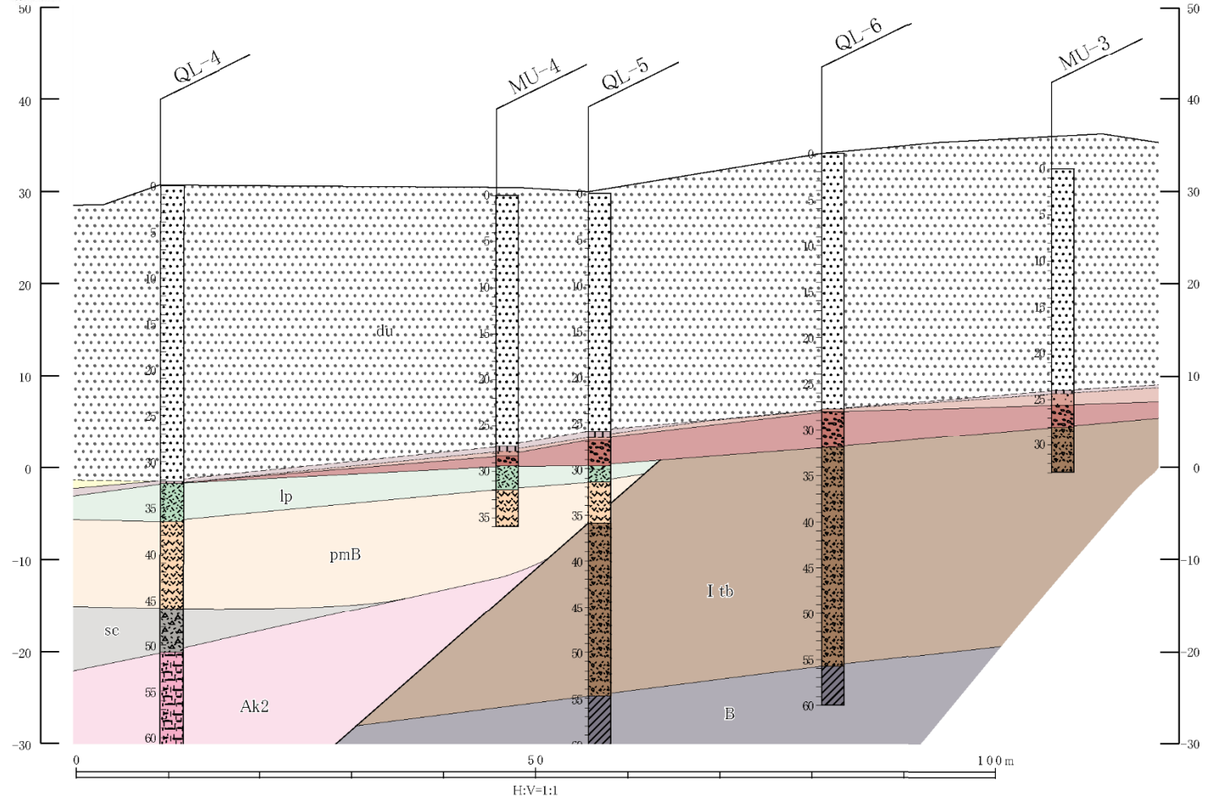
柱状図凡例

- 中粒砂層
- 砂
- 腐植質シルト～砂礫
- ローム質砂層
- 砂礫
- 火山礫凝灰岩～凝灰角礫岩
- 軽石流堆積物
- スコリア流堆積物
- 溶結凝灰岩
- 軽石凝灰岩
- 細粒凝灰岩
- スコリア流堆積物
- 火山灰流堆積物
- 溶結凝灰岩
- 細粒凝灰岩
- 軽石流堆積物
- 輝石安山岩溶岩
- 凝灰角礫岩
- 泥質岩

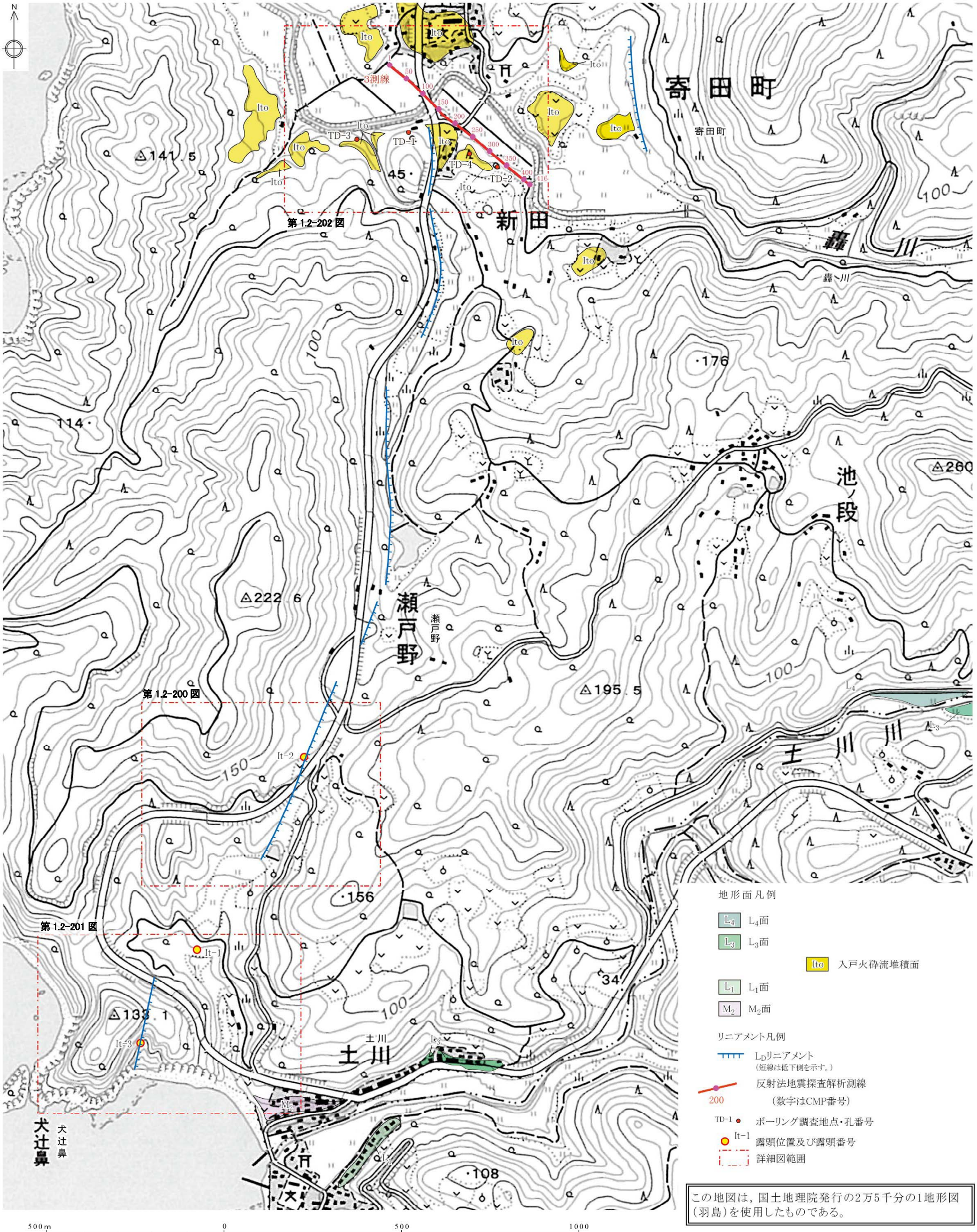
断面図凡例

- du 砂丘堆積物
- 海成砂層
- 腐植質シルト～砂礫 } 沖積層
- ローム質砂層
- 礫層 } 段丘堆積物
- lp 火山礫凝灰岩～凝灰角礫岩
- pmB 軽石流堆積物B
- sc スコリア流堆積物
- Ak2 阿久根2火砕流堆積物
- Fn 舟川火砕流堆積物
- Mm 百次火砕流堆積物
- pmA 軽石流堆積物A
- IIpx 輝石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類II
- Itb 凝灰角礫岩 } 北薩火山岩類I
- B 泥質岩 } 秩父層群
- 地質境界
- 断層

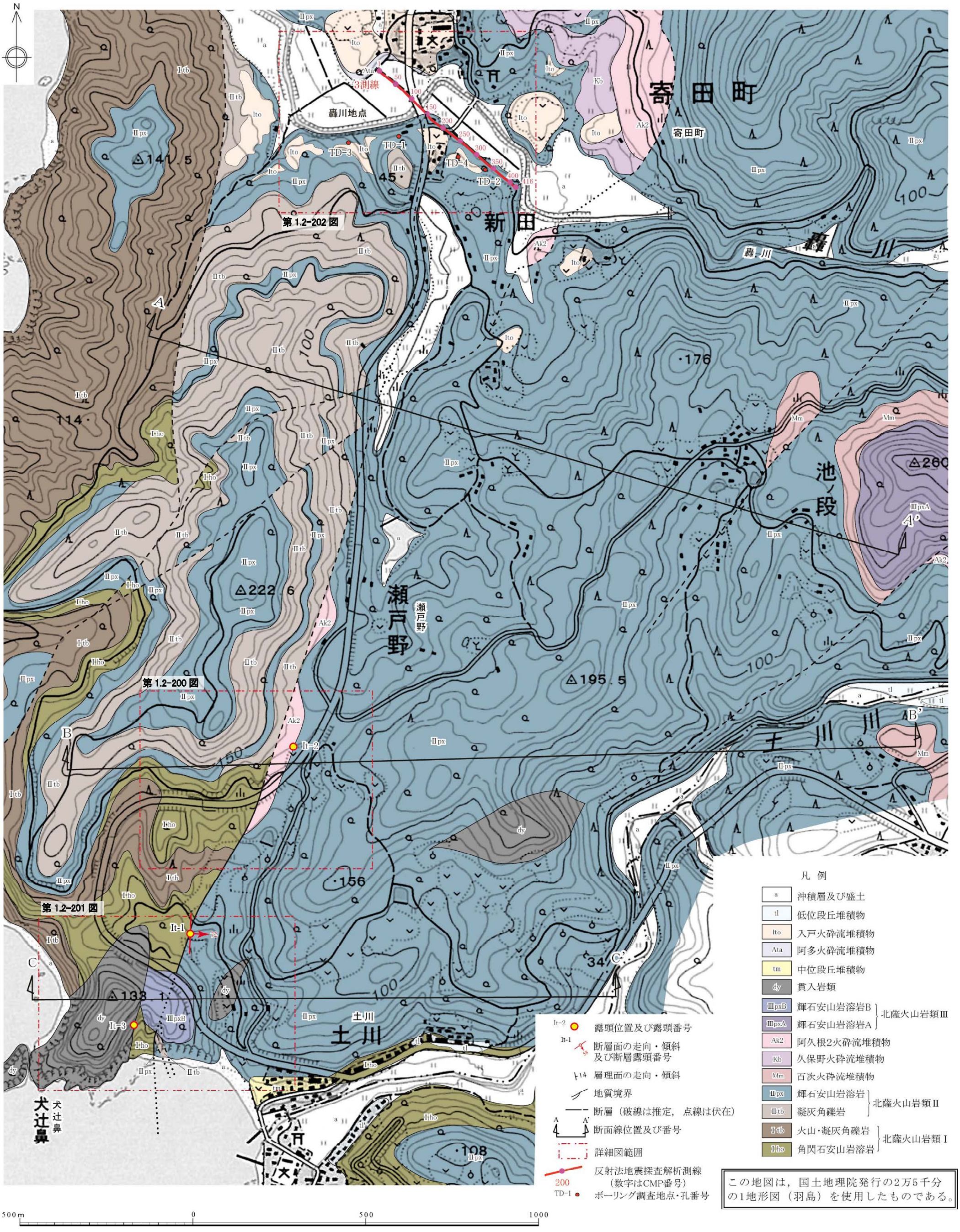




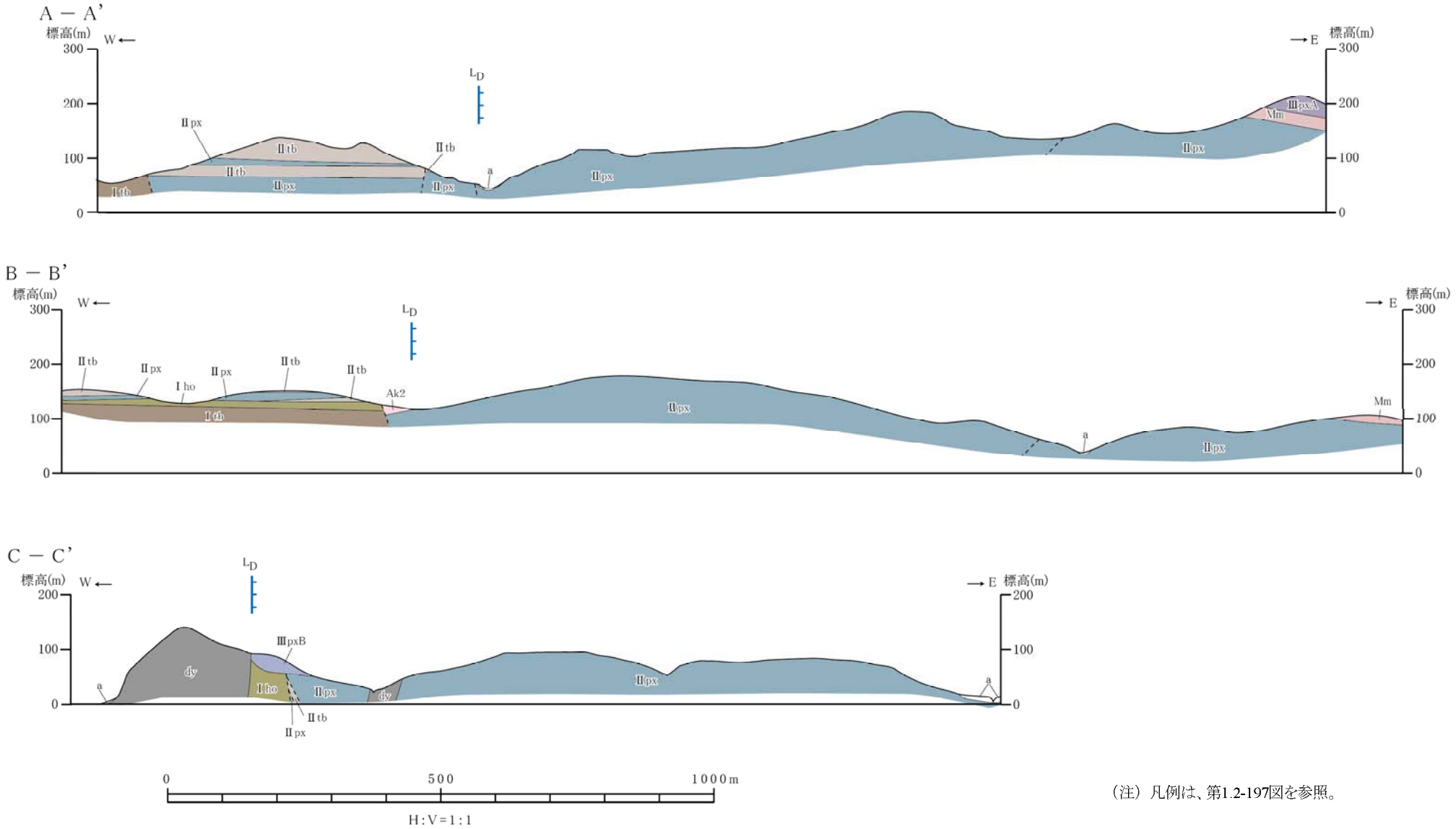
第1.2-195図　敷地南端部における地質断面図



第1.2-196図　犬辻鼻リニアメント周辺の空中写真判読図

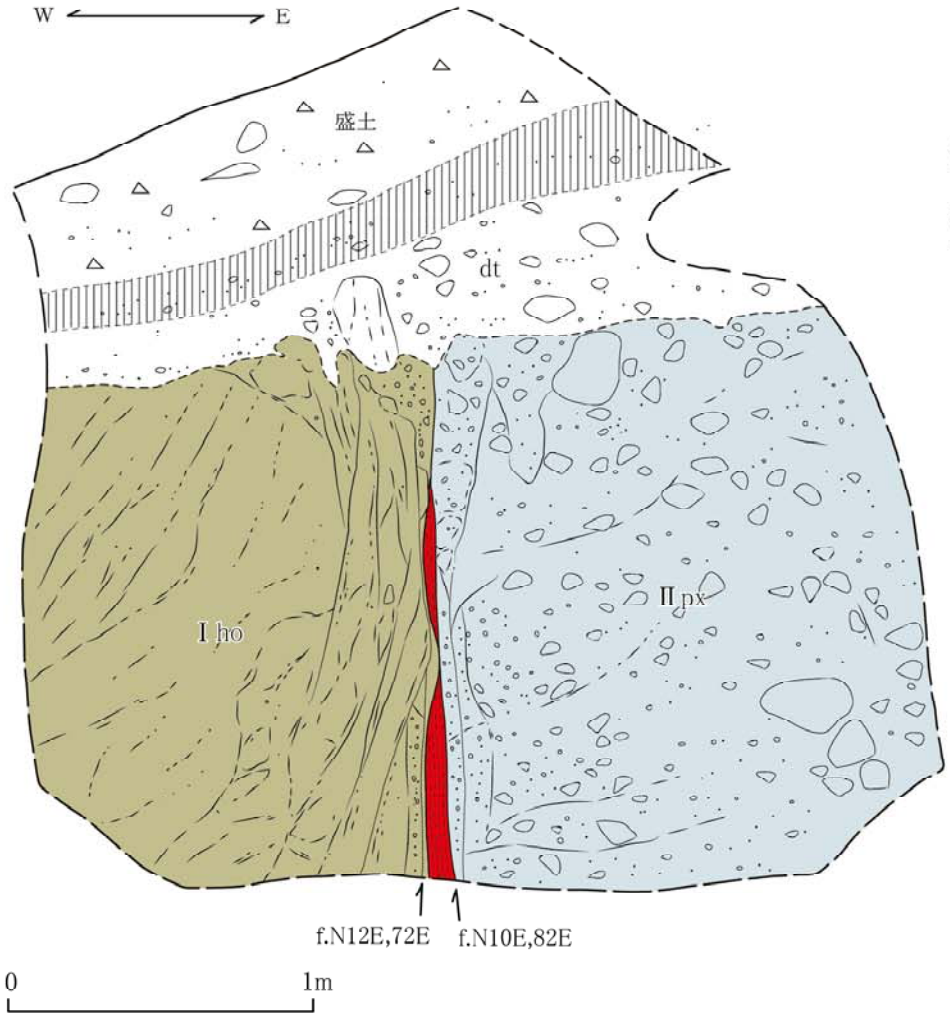


第1.2-197図　犬辻鼻リニアメント周辺の地質図



（注）凡例は、第1.2-197図を参照。

第1.2-198図　犬辻鼻リニアメント周辺の地質断面図

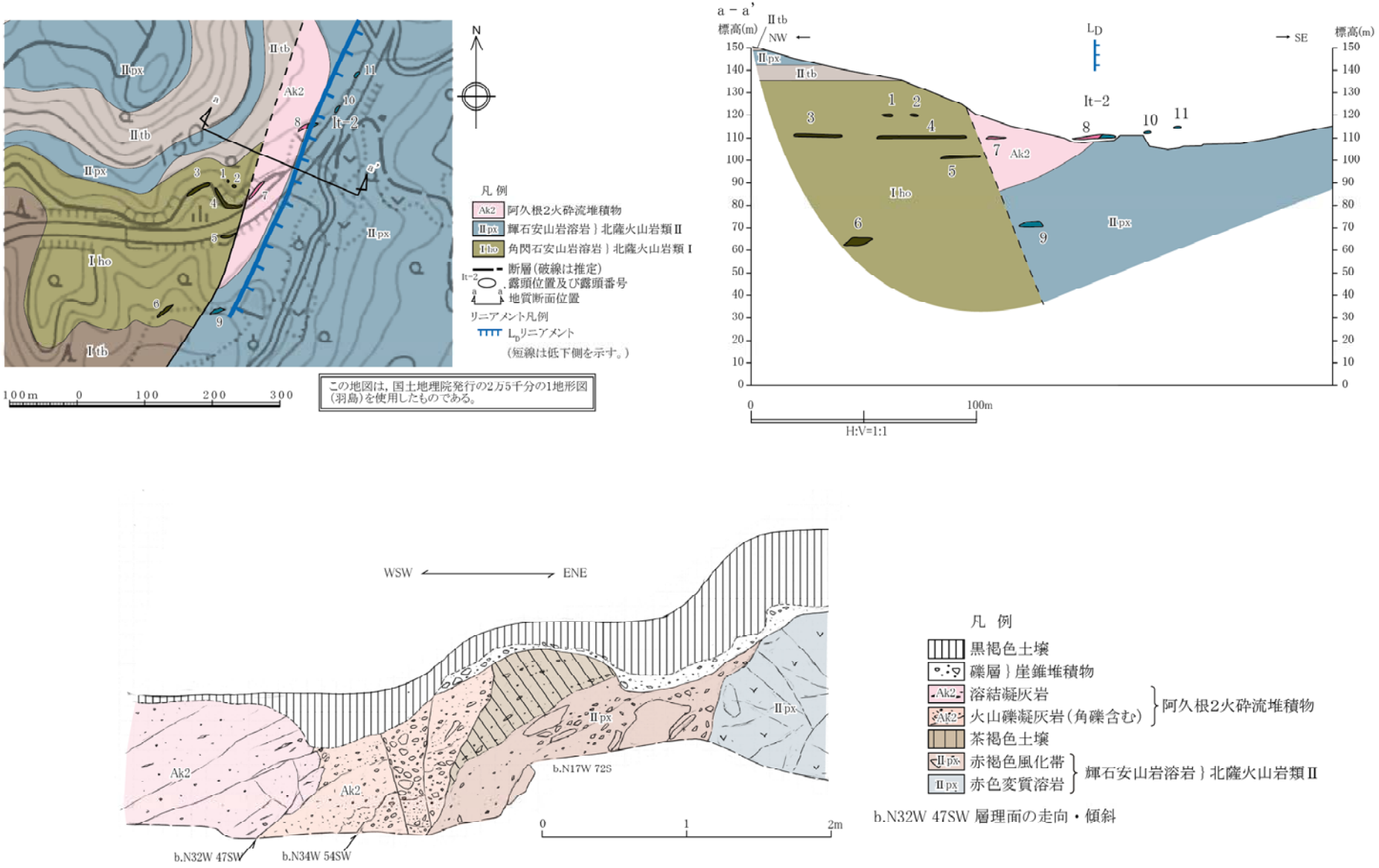


西側の角閃石安山岩溶岩（北薩火山岩類Ⅰ）と東側の輝石安山岩自破砕溶岩（北薩火山岩類Ⅱ）とを境する断層。
断層面は平面的であり，面沿いに幅5cm程度の軟質粘土が認められるが，一部で軟質粘土は連続せず，断層面も癒着している。

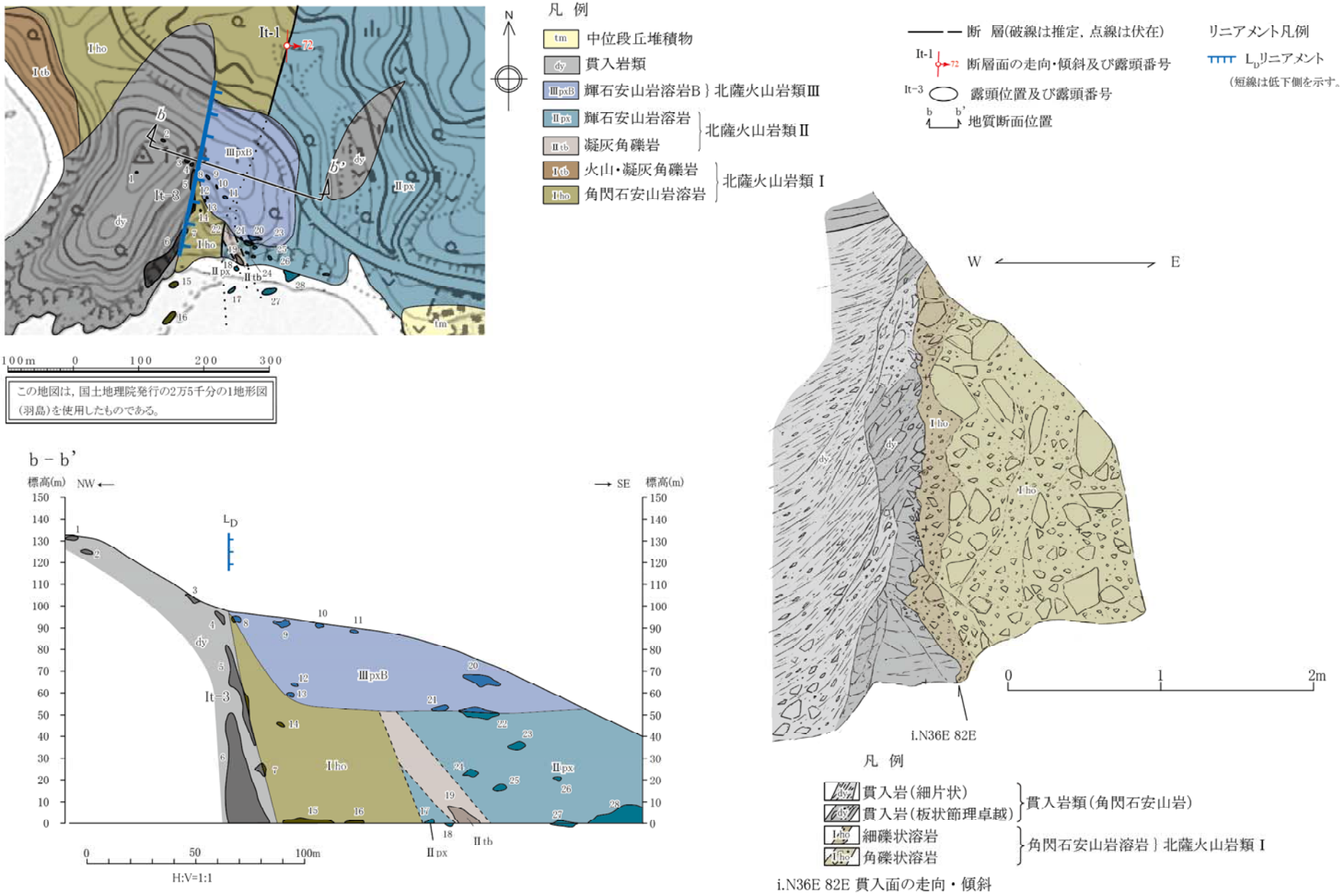
凡 例

- 黒褐色～茶褐色土壌
- dt 黄褐色砂層 } 崖錐性堆積物
- Ⅱpx 輝石安山岩自破砕溶岩 } 北薩火山岩類Ⅱ
- Ⅰho 角閃石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類Ⅰ
- 軟質粘土
- f.N12E,72E 断層面の走向・傾斜

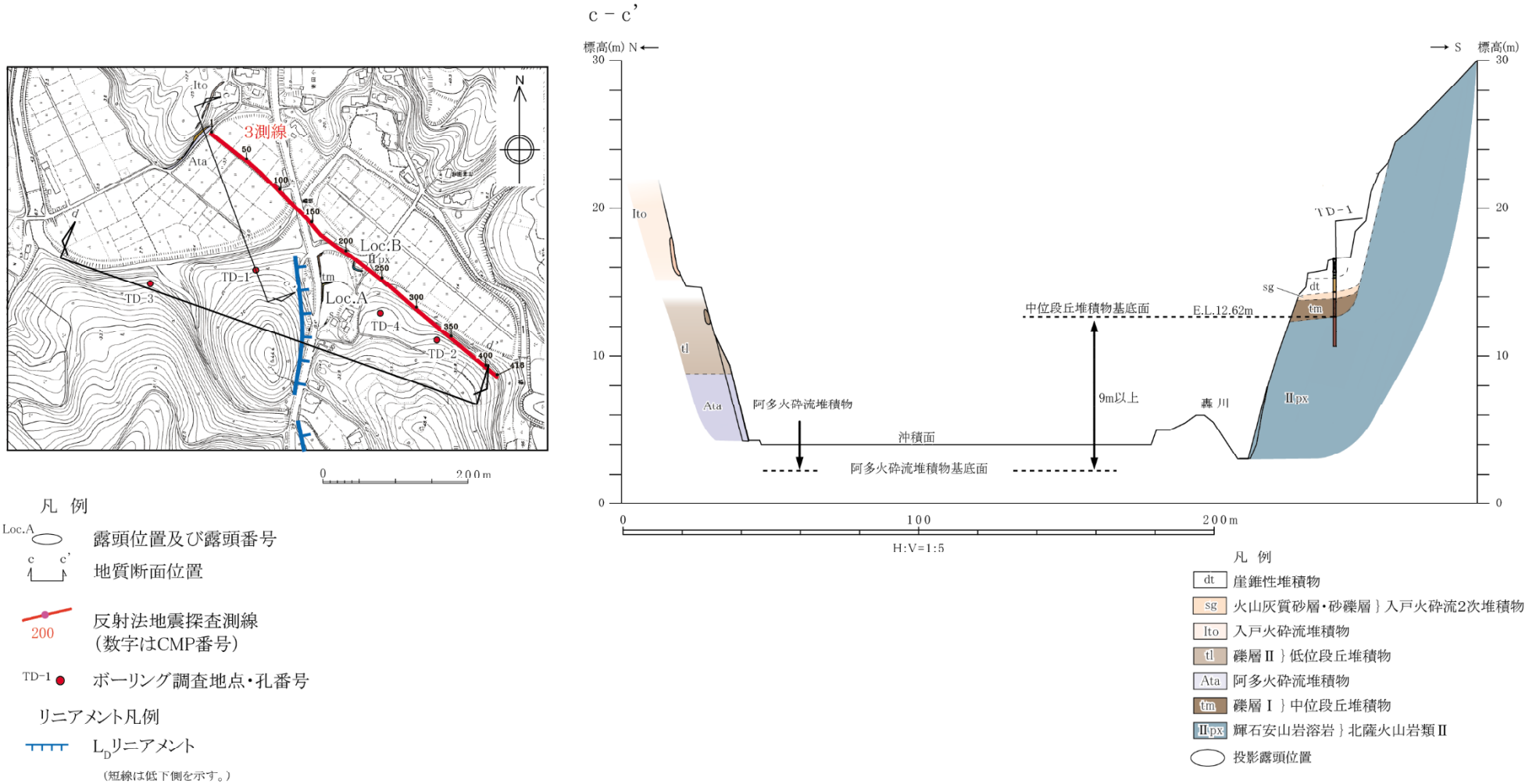
第1.2-199図　露頭スケッチ（Loc.It-1，薩摩川内市土川北）



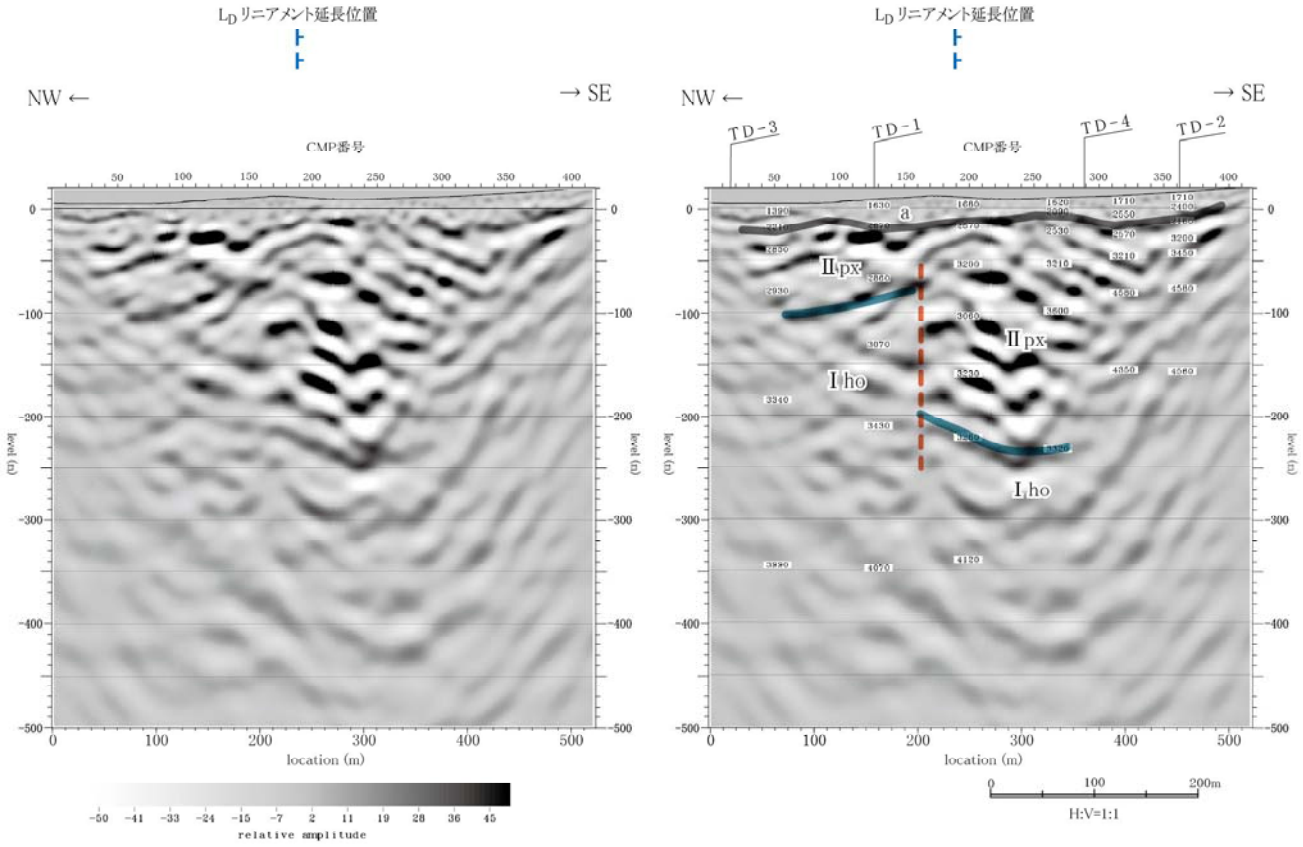
第1.2-200図　ルートマップ・地質断面図・露頭スケッチ(Loc.It-2, 薩摩川内市瀬戸野付近)



第1.2-201図　ルートマップ・地質断面図・露頭スケッチ(Loc.It-3，薩摩川内市犬辻鼻東方付近)



第1.2-202図　調査位置図・地質断面図(轟川地点)



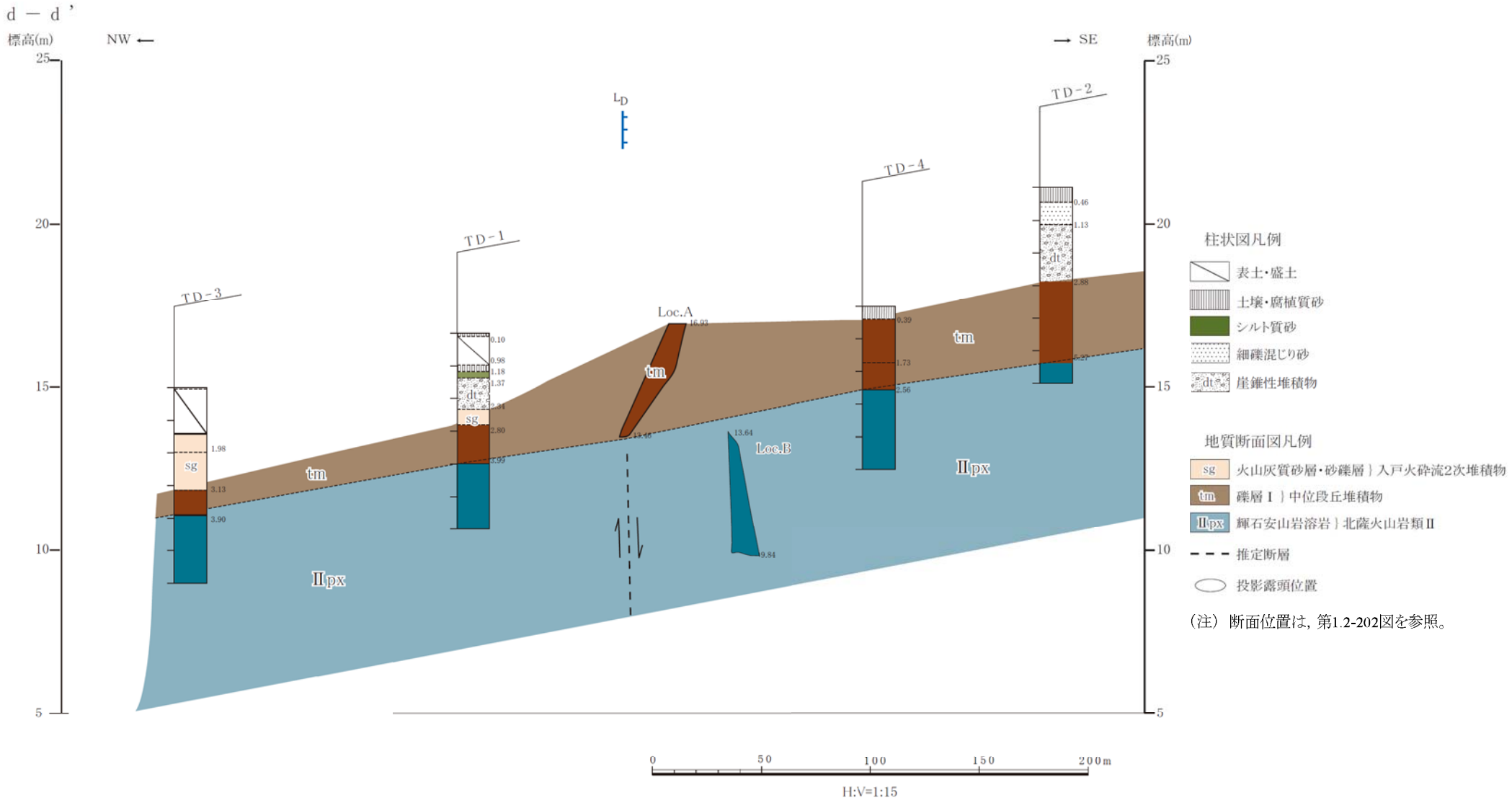
探鉱機　デジタルテレメトリ型（JGI, G・DAPS-4）
震　源　油圧インパクタ　1台（JGI, JMI-200Ⅱ）
　　加速式重錘落下，重錘質量 200kg
受振器　30Hz，6個/グループ（I/O Sensor, SM-11）

標準収録仕様
収録時間　2sec
サンプリング間隔　1msec
発振点間隔　2.5m
受振点間隔　5m

凡　例
a: 沖積層
Ⅱpx: 輝石安山岩類｝北薩火山岩類Ⅱ
Ⅰho: 角閃石安山岩類｝北薩火山岩類Ⅰ
－－ 推定断層

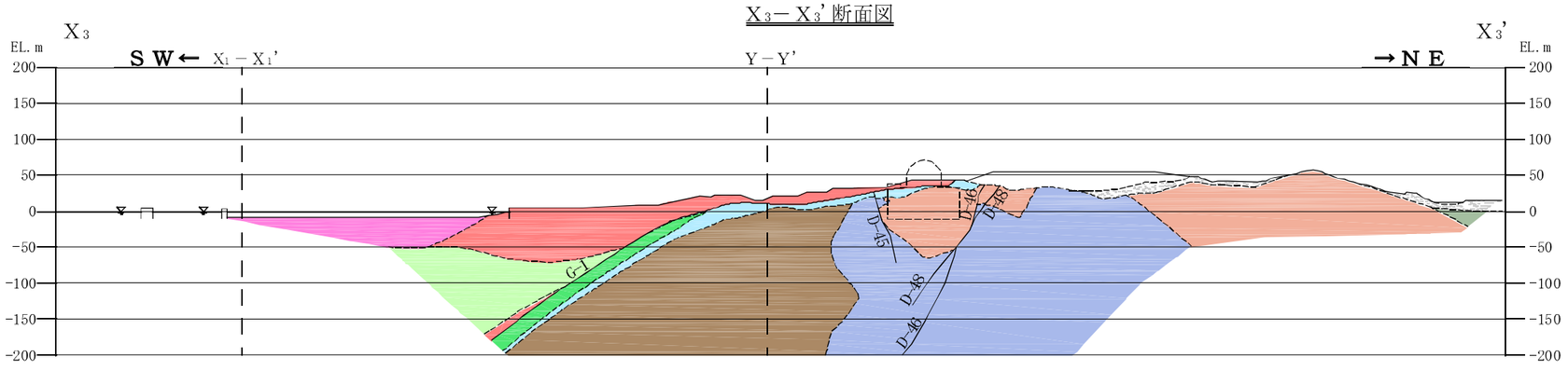
（注）測線位置は，第1.2-196図を参照。

第1.2-203図　反射法地震探査による深度断面とその解釈（3測線）

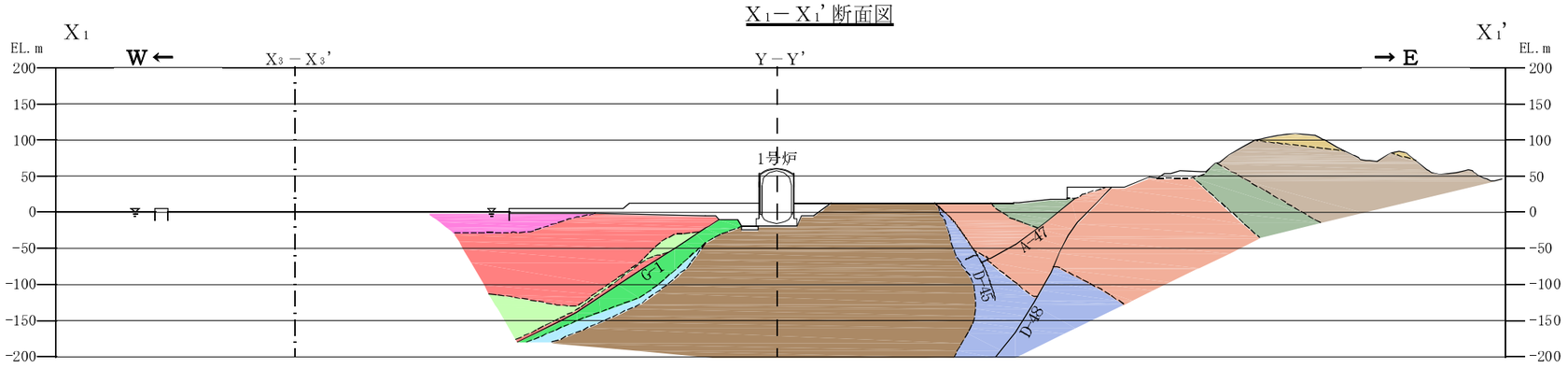


第1.2-204図　地質断面図（轟川地点）

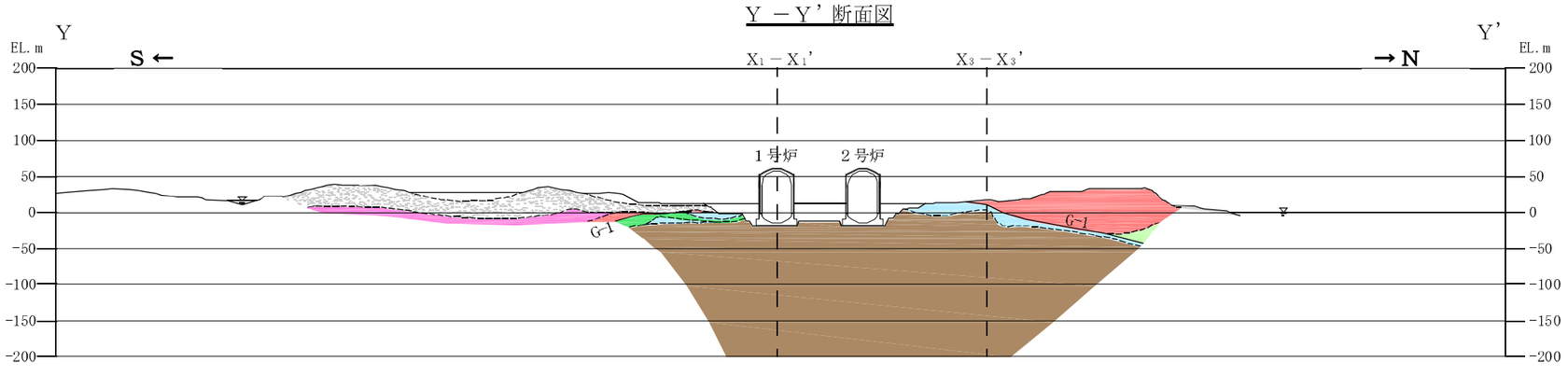
X_3-X_3' 断面図



X_1-X_1' 断面図



Y －Y' 断面図



地 質 凡 例

地質時代			地層名		地　質
新生代	第四紀	完新世～更新世	盛土		礫、砂、シルト等
			第四系	海浜堆積物	礫、砂等
				沖積層	礫、砂、泥等
				砂丘堆積物	砂等
				段丘堆積物	礫、砂、シルト等
	新第三紀	鮮新世	火砕流堆積物		溶結凝灰岩
			北薩火山岩類Ⅱ（輝石安山岩質）		安山岩溶岩、火山角礫岩、凝灰角礫岩、火山礫凝灰岩、凝灰岩
			みやま層		凝灰質シルト岩、凝灰質砂岩、凝灰質礫岩、軽石凝灰岩
		中新世	北薩火山岩類Ⅰ（角閃石安山岩質）		軽石質凝灰角礫岩 火山角礫岩、凝灰角礫岩、火山礫凝灰岩
中生代	白亜紀	後期	混在岩		泥質岩基質及び岩塊（砂岩、礫岩、石灰岩等）
		前期	滄浪層		砂岩、礫岩、頁岩
			久見崎層	上部層	頁岩、砂岩、礫岩
				下部層	礫岩、砂岩、頁岩
			川内層	上部層	粘板岩、砂岩、礫岩
				下部層	礫岩、砂岩、粘板岩
	ジュラ紀		変はんれい岩類		蛇紋岩メランジュ（変はんれい岩、角閃岩、蛇紋岩等）

記 号 凡 例

--------- 地質境界線

━━━━ 断　層

0　100　200　300(m)

第1.2-207図　敷地の地質断面図